

令和5年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(令和4年度実績)

令和6年1月

福 島 県

目 次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 各報告書の報告状況	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理	3
1.5 調査に関する基本的な事項	5
第2章 調査結果の概略	8
2.1 令和4年度の産業廃棄物の排出状況	8
2.2 令和4年度の産業廃棄物の処理状況	11
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況	14
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況	15
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果	16
第3章 産業廃棄物処理業者の実績	19
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要	19
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理	23
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分	29
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績	35
4.1 多量排出事業者等における報告状況	35
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性	37
第5章 産業廃棄物の処理状況	40
5.1 再生利用の状況	40
5.2 最終処分の状況	43
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析	46
6.1 データ整備等の内容	46
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	47
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成	49
参考データ	49
統計表1 業種別・種類別の排出量	51
統計表2 排出量及び処理量（種類別）	52
統計表3 排出量及び処理量（業種別）	54
統計表4 排出量及び処理量等の経年推移	56

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、令和4年度における県内の産業廃棄物の排出・処理等の実態を調査し、産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の推進に資することを目的に実施した。

1.2 調査の内容

1 報告書データの電子化及びデータの整理

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する実績報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化されたデータの内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1のデータを基に、福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）の整理、分析を行った。

3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1の結果等から、産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された産業廃棄物管理票交付等状況報告書及び電子マニフェスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を行った。

6 資源化状況の解析

1.2.1のデータを基に、廃棄物の種類ごとに資源化用途及び利用先業種(素材産業等)を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

7 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

1.3 各報告書の報告状況

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

報告件数は、処分業者及び収集運搬業者が 3,245 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）が 404 件、鉱業事業者が 11 件となっており、報告率は全体で 76%となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び 収集運搬業者		多量排出事業者等 ・施設設置者		鉱業事業者		計	
	調査 対象数	報告数	調査対 象数	報告数	調査対 象数	報告数	調査対 象数	報告数
福島県	4,112	3,137	345	260	11	8	4,468	3,405
福島市	4	3	48	32	0	0	52	35
郡山市	9	9	58	40	0	0	67	49
いわき市	137	96	83	72	3	3	223	171
計	4,262	3,245	534	404	14	11	4,810	3,660
(報告率)	(76%)		(76%)		(79%)		(76%)	

1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

(1) 物流情報の整理

提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングにより行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分 区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の 報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業 者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

(2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

2 排出事業者の報告書の整備

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下、「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

3 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、排出事業者の自己処理量と委託処理量で構成される。

(1) 自己処理量

自己処理量は、自己で完結（委託されない）する中間処理及び売却、自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、これらの事業者の実績データで推計することができる。

(2) 委託処理量

産業廃棄物処理業者の実績から把握した。排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内での処理については、県内の中間処理業者及び最終処分業者の実績データを使用し、県外での処理については、収集運搬業者の実績データを使用した。

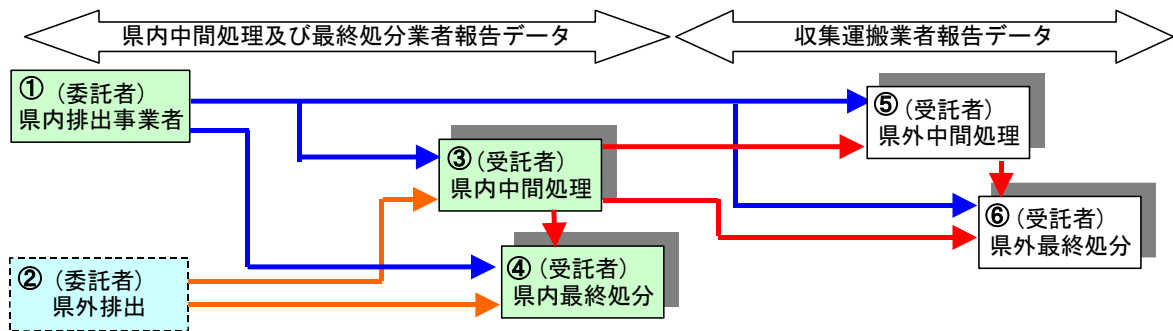


図 1-1 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

また、上記の(1)と(2)の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）についても調査を行い、情報を補完した。推計方法の概略は、図 1-2 のとおりである。

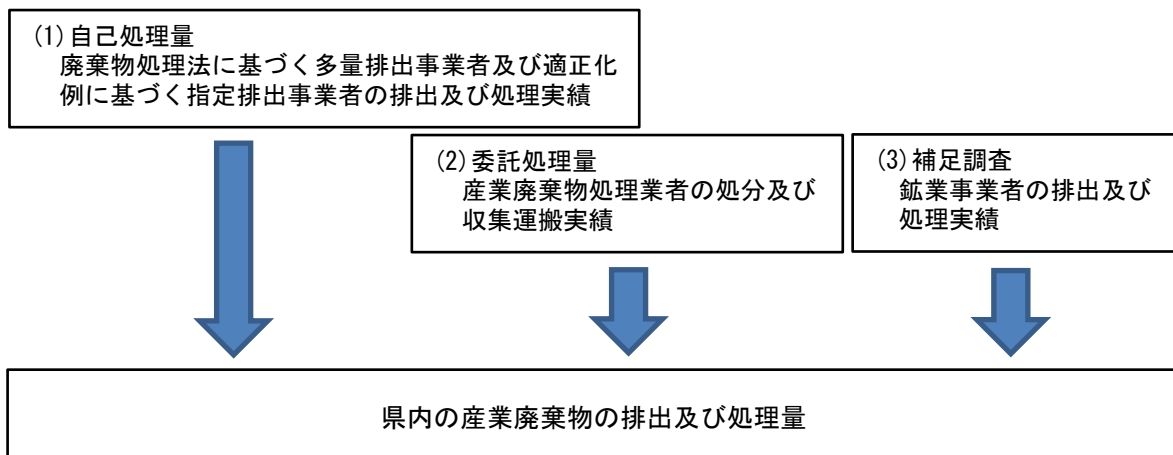


図 1-2 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

なお、実績報告書の提出がない産業廃棄物処理業者及び排出事業者のデータについては、前年度実績や産業廃棄物管理票交付等状況報告書のデータを用いて推計した。

1.5 調査に関する基本的な事項

1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯舘村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市
TC	福島市	福島市

2 調査対象産業廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有価物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 法令上廃棄物とならない有価物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

有価物量は、多量排出事業者等から提出される実績報告書の有価物量の欄を計上している。

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、産業廃棄物の集計から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

3 産業廃棄物の種類の区分

本調査では、中間処理の前後で廃棄物の種類が変化する場合、廃棄物の種類の後ろに処分時点又は再生利用時点とカッコ付きで表記した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改訂、総務省）に記載されている区分を基本にして、表 1-4 のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

第2章 調査結果の概略

2.1 令和4年度の産業廃棄物の排出状況

産業廃棄物の業種別、種類別の排出量は、**図 2-1**、**図 2-2**、**表 2-1** のとおりである。

令和4年度における産業廃棄物の排出量7,134千トンを業種別にみると、製造業が2,419千トンで最も多く、次いで、電気・ガス・水道業が2,224千トン、建設業が2,170千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が3,022千トンで最も多く、次いで、がれき類が1,704千トン、ばいじんが1,233千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

平成25年度までは東日本大震災の復旧・復興工事による建設業の排出量が多かったが、それ以降は復旧・復興工事も少なくなり、全体の排出量は減少傾向にある。令和元年度以降は、新型コロナウイルスの蔓延等による景気後退や水害・地震による工場の被災等が排出量に影響している。

令和4年度における排出量の減少は、経済指標等とは完全には一致していない（9ページ下段参照）。製造業は全体として企業活動は盛んであったが、汚泥を大量に発生する多量排出事業者の排出量が減少したため、製造業の排出量も減少している。

電気・ガス・水道業は、令和4年3月福島県沖地震の影響により石炭火力発電所が稼働を停止した影響により、排出量が減少している。

建設業の排出量は、横ばいとなっている。令和4年3月福島県沖地震の影響により、被災した建築物の解体工事は増加したが、他の工事が減少したと推測される。

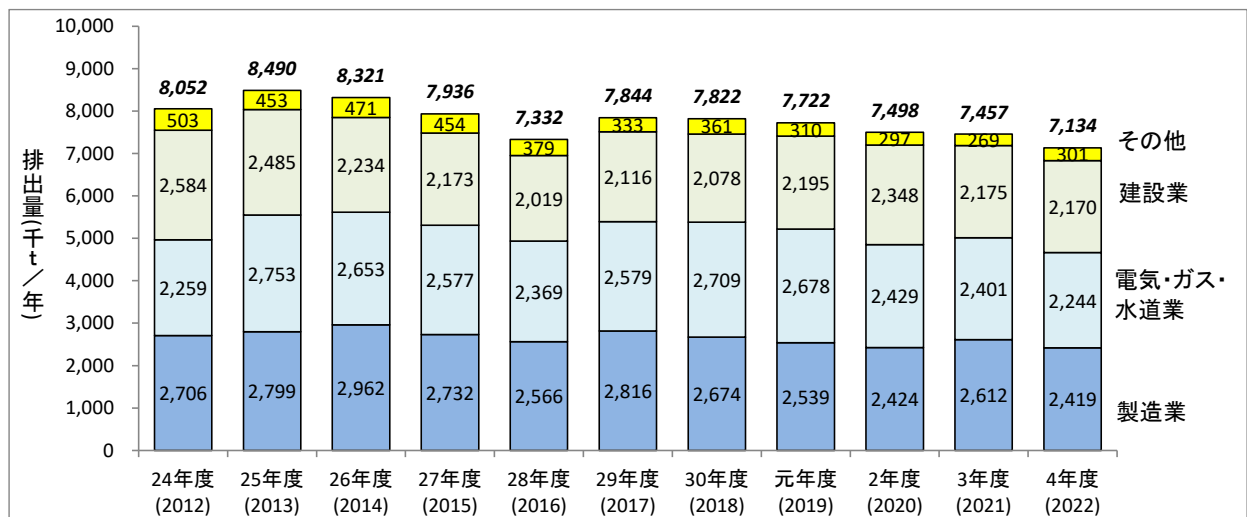


図 2-1 産業廃棄物の業種別排出量の推移

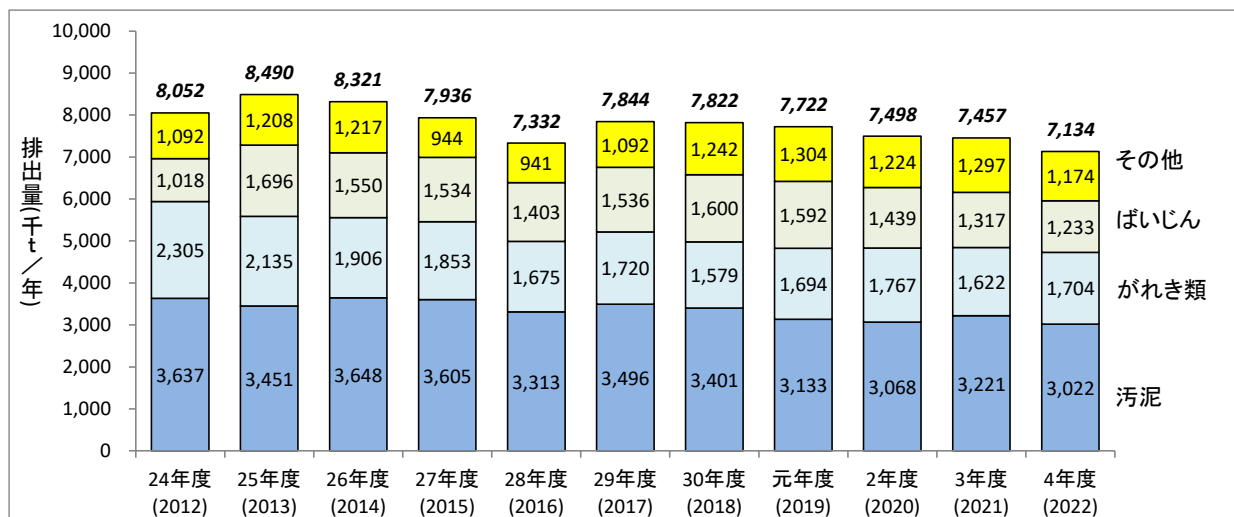


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 産業廃棄物の業種別・種類別の排出量

(単位：千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,134 (100%)	165 (2%)	2,170 (30%)	2,419 (34%)	2,244 (31%)	5 (0%)	7 (0%)	10 (0%)	88 (1%)	25 (0%)
燃え殻	174 (2%)		4	15	154	0			0	0
汚泥	3,022 (42%)	165	73	1,902	859	1	1	1	18	3
廃油	36 (1%)		1	25	0	1	0	0	8	0
廃酸	18 (0%)		0	16	0	0	1	0	2	0
廃アルカリ	101 (1%)		3	94	0	0	0	0	2	0
廃プラスチック類	164 (2%)	0	45	80	1	2	4	2	28	3
紙くず	7 (0%)		5	2						0
木くず	250 (4%)		247	3		0	0		0	0
繊維くず	4 (0%)		4							
動植物性残さ	18 (0%)			18						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	27 (0%)	0	10	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	166 (2%)	0	42	101	6	1	1	1	12	1
鉱さい	141 (2%)		1	116	23	0			1	0
がれき類	1,704 (24%)		1,699	3	0					3
ばいじん	1,233 (17%)		0	31	1,201				0	0
動物のふん尿	10 (0%)									10
その他	59 (1%)		36	4	0	0	0	6	9	3

*表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は500 t/年未満のもの。以下の図表において同じ。

【参考：福島県の経済指標等】

業種	経済指標等	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	増減 (R4-R3)	出典等
製造業	製造工業生産指数 (H27=100)	85.4	88.3	89.1	+0.8	福島県統計課 「福島県鉱工業指数年報」
電気業	火力発電所の発電電力量 (GWh)	47,094	47,432	42,188	-5,244	資源エネルギー庁 「電力調査統計」
建設業	除却建築物の床面積 (万 m ²)	60.3	35.5	43.1	+7.6	国土交通省「建築物減失統計調査」、上段は木造、下段は非木造
		33.1	35.0	41.2	+6.2	

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 2,799 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 1,789 千トン、以下、郡山市が 695 千トン、県北地区が 499 千トン、会津地区が 463 千トン、福島市が 334 千トン、県南地区が 309 千トン、県中地区が 224 千トン等となっている。

いわき市は、製紙業や化学工業の大規模工場があり、汚泥の排出量が多くなっている。また、人口が多いために、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類等の日常生活に密着した産業廃棄物も多くなっている。

相双地区は、石炭火力発電所から発生するばいじんの排出量が多くなっている。

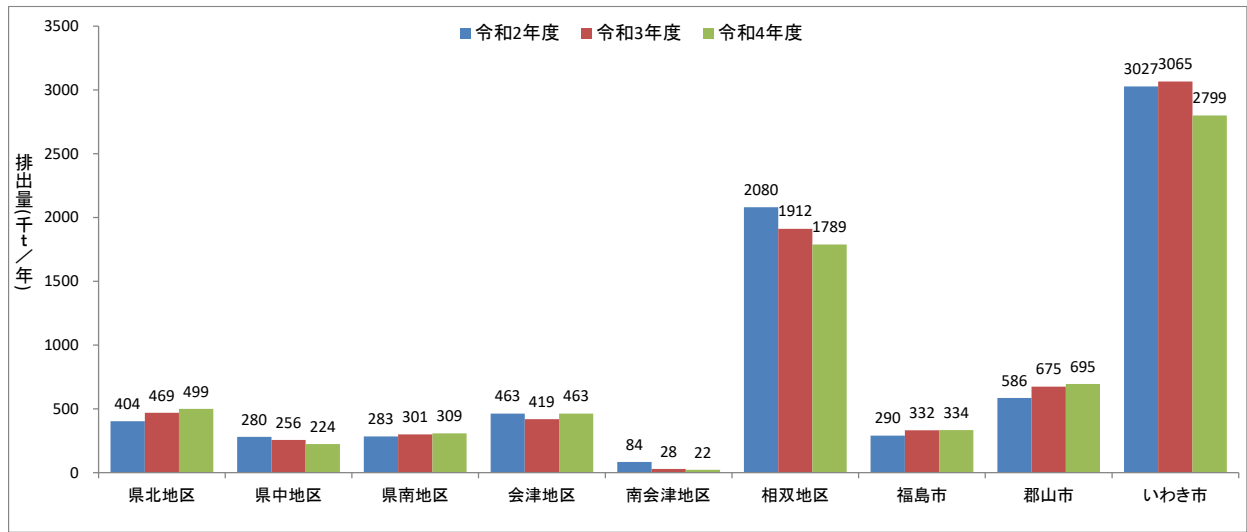


図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の種類別・地区別排出量

(単位：千t/年)

種類 \ 地区	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
合計	7,134 (100.0%)	499 (7.0%)	224 (3.1%)	309 (4.3%)	463 (6.5%)	22 (0.3%)	1,789 (25.1%)	334 (4.7%)	695 (9.7%)	2,799 (39.2%)
燃え殻	174	0	0	1	8	0	129	3	0	32
汚泥	3,022	207	40	21	162	1	290	65	257	1,980
廃油	36	3	3	4	3	0	4	2	4	13
廃酸	18	1	1	3	3	0	2	1	2	5
廃アルカリ	101	4	1	4	11	0	20	29	8	24
廃プラスチック類	164	16	12	31	7	0	24	13	15	46
紙くず	7	1	1	1	0	0	1	1	1	1
木くず	250	19	21	24	28	4	35	20	54	45
繊維くず	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0
動植物性残さ	18	3	2	2	0		0	5	5	0
動物系固形不要物										
ゴムくず	0		0					0		
金属くず	27	6	3	2	1	1	2	3	6	3
ガラス陶磁器くず	166	14	14	12	20	0	32	17	18	38
鉱さい	141	63	17	20	4	0	12	9	2	14
がれき類	1,704	148	104	178	202	15	358	158	313	229
ばいじん	1,233	0	0	3	4	0	874			352
動物のふん尿	10	10	0							
その他産業廃棄物	59	4	5	2	8	0	5	8	9	19

2.2 令和4年度の産業廃棄物の処理状況

令和4年度に発生した産業廃棄物の処理フローは、**図2-4**のとおりである。

排出量 7,134 千トンのうち、93%に当たる 6,665 千トン（中間処理量）が排出事業者または産業廃棄物処理業者による脱水、焼却等の中間処理がされており、この結果、2,892 千トン（減量化量）が減量されている。

中間処理後の再生利用量（3,574 千トン）と排出事業者等での直接再生利用量（52 千トン）を合わせた再生利用量は、排出量の 51%に当たる 3,626 千トンとなっている。

直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合わせた最終処分量は、排出量の 9%に当たる 615 千トンとなっている。

令和3年度と比較して、再生利用量は 97 千トンの減少（再生利用率は 1 ポイント増加）、最終処分量は 28 千トンの減少（最終処分率は同）となっている。

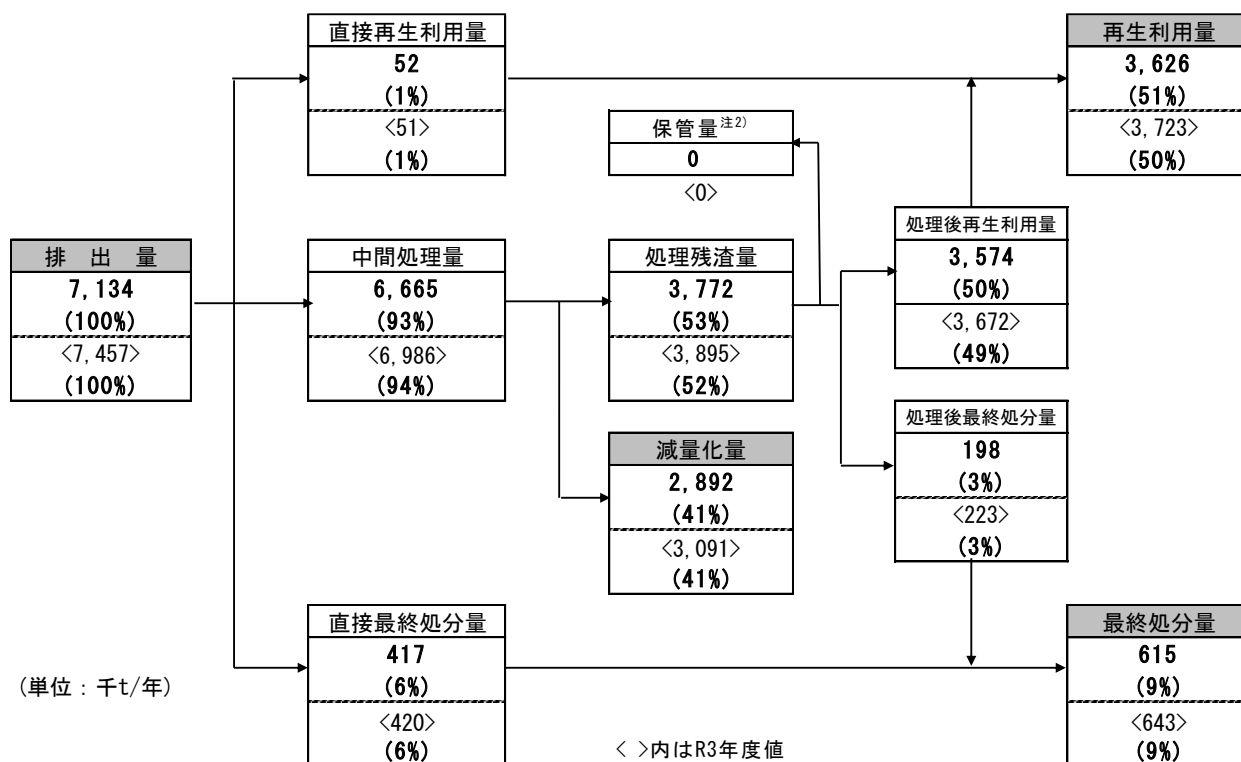


図2-4 産業廃棄物の処理フロー

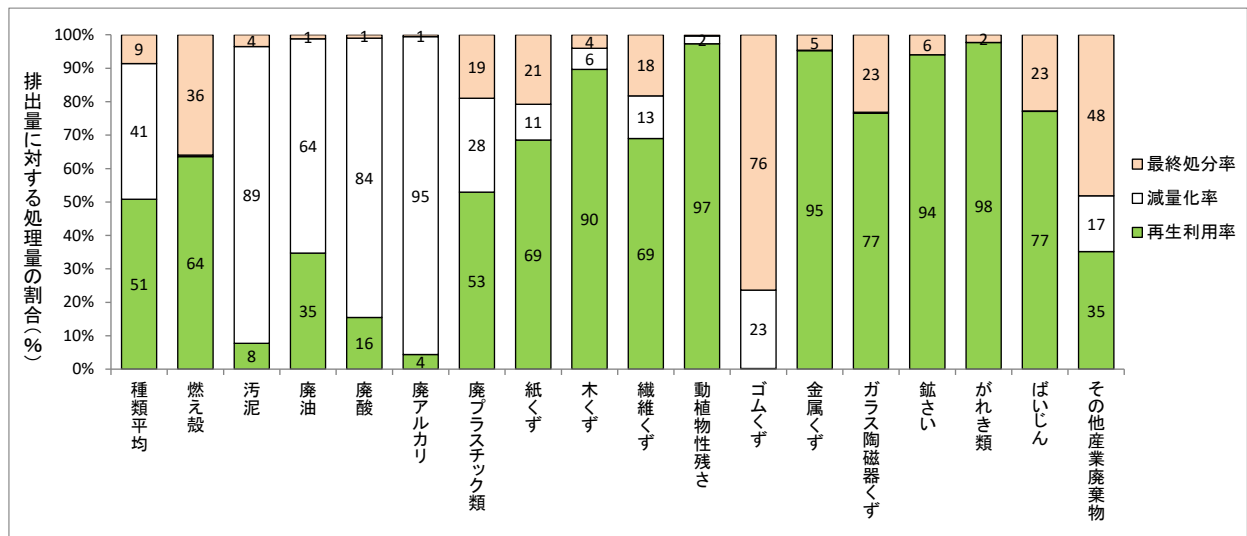
注1) ()内の数値は排出量に占める割合で、端数処理の関係により割合の合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

注2) 保管量は、排出事業者及び産業廃棄物処理業者に対して実施したアンケート調査等結果から、定量化できたものを集計したもの。以下の図表において同じ。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、**図 2-5** のとおりである。

汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、木くず、動植物性残さ、金属くず、鉱さい、がれき類は再生利用率が高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくず、その他産業廃棄物（混合物等）は、最終処分率が高くなっている。



※図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

図 2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、**図 2-6** のとおりである。

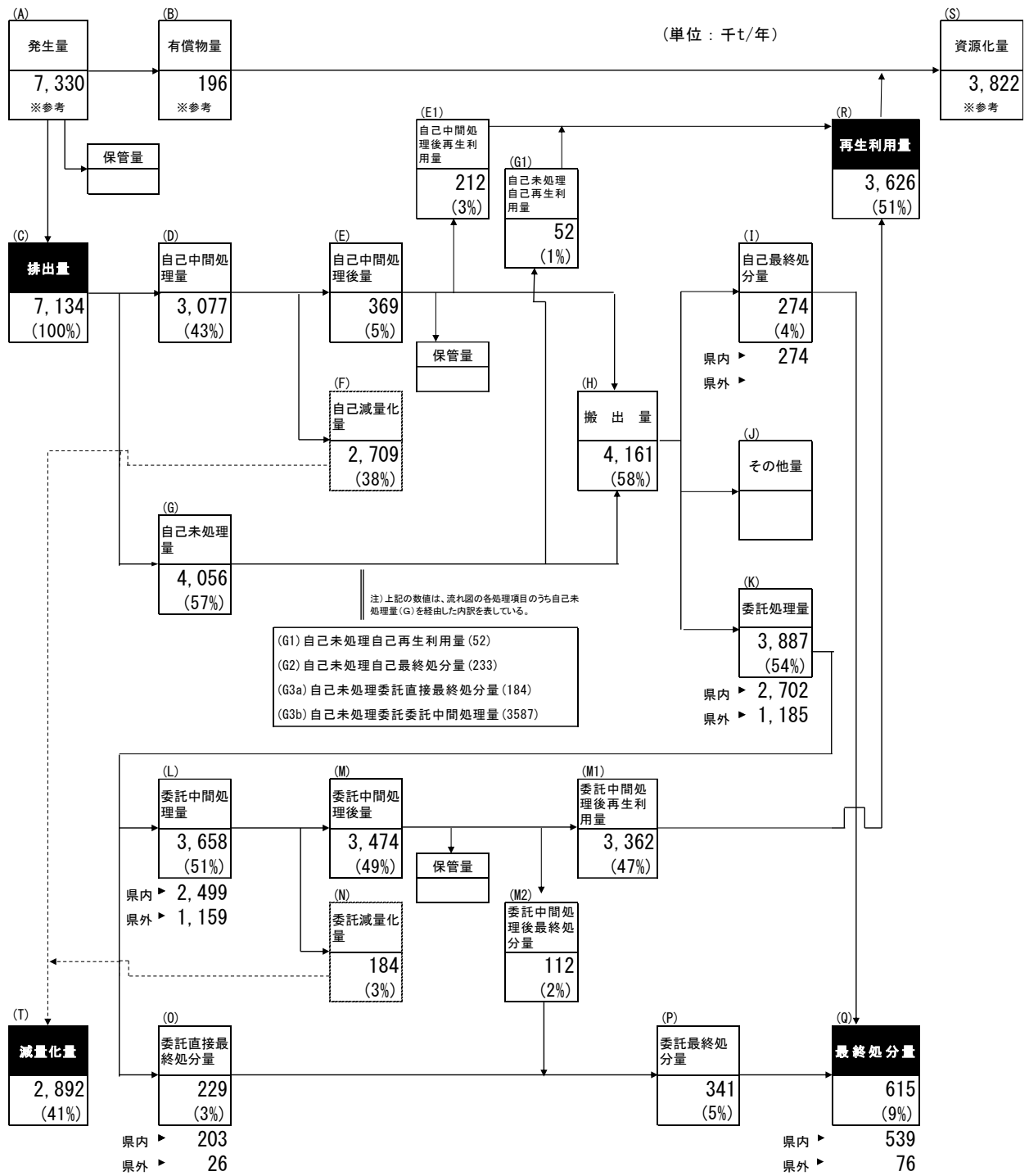


図 2-6 産業廃棄物の処理フロー (詳細)

2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）では、令和8年度における目標値を「排出量（7,700千トン以下）」、「再生利用率（52%以上）」、「最終処分率（6%以下）」としており、福島県では達成状況の進行管理を行っている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

令和4年度実績を目標値と比較すると、排出量（令和4年度:7,134千トン）の目標値は達成しているが、再生利用率（同:51%）と最終処分率（同:9%）については、目標値を達成していない。

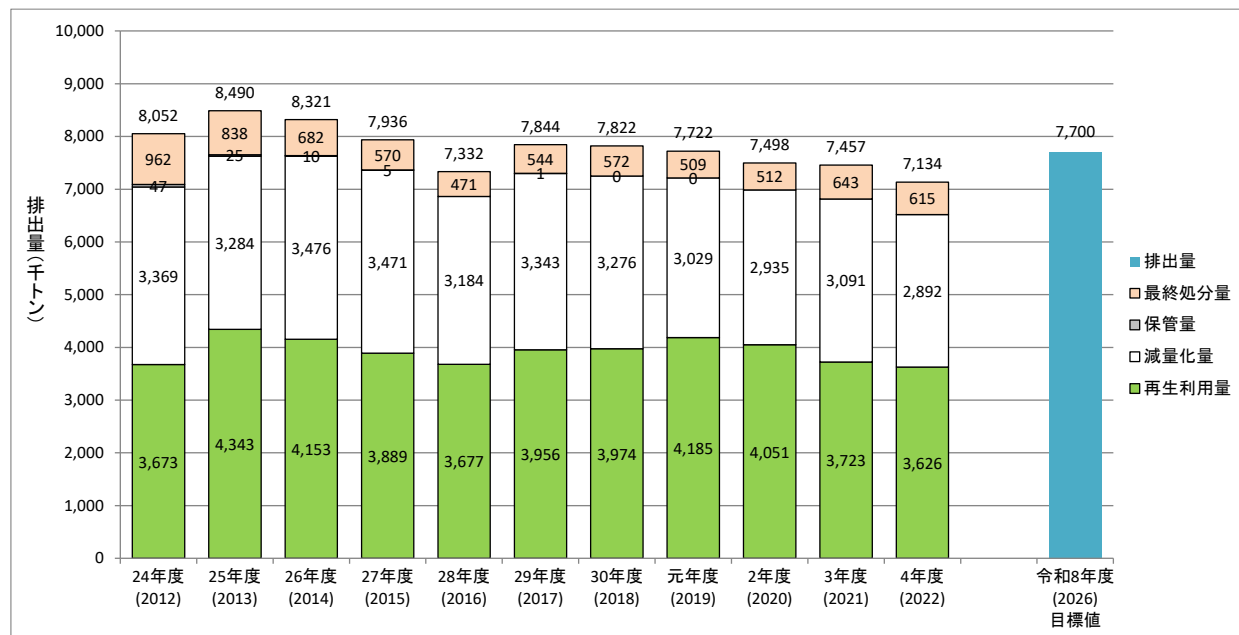


図2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

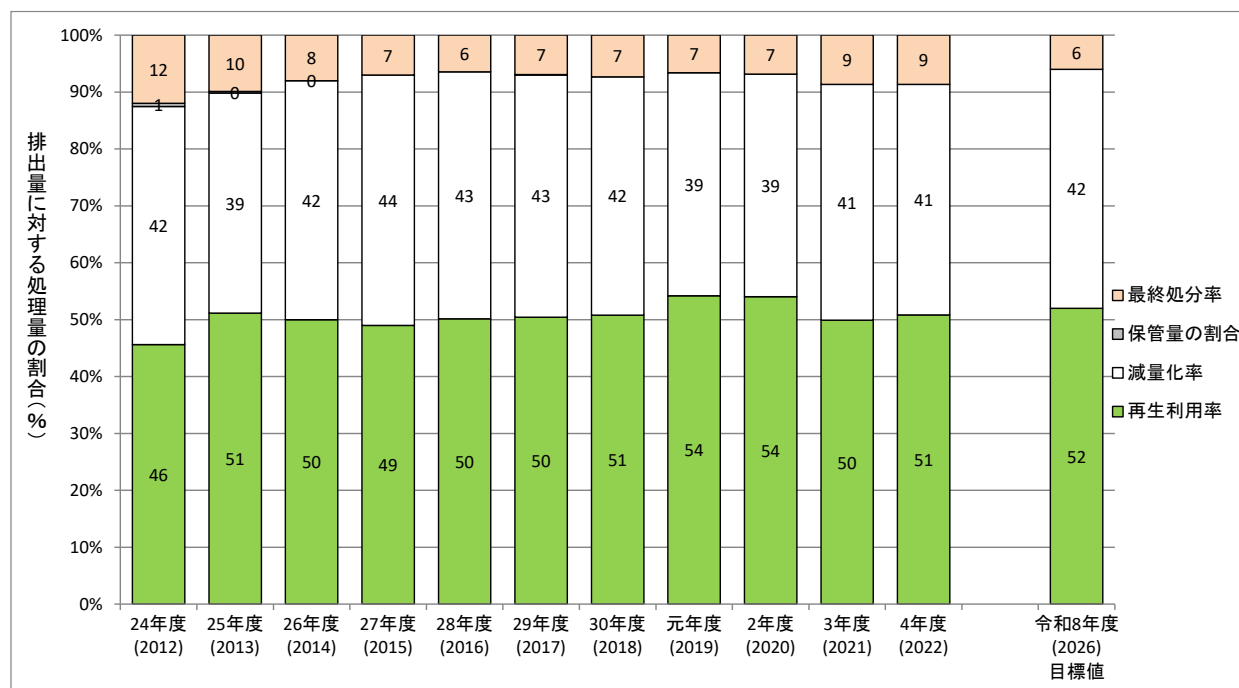


図2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

令和4年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図2-9及び図2-10のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、いわき市、相双地区、福島市が多くなっている。

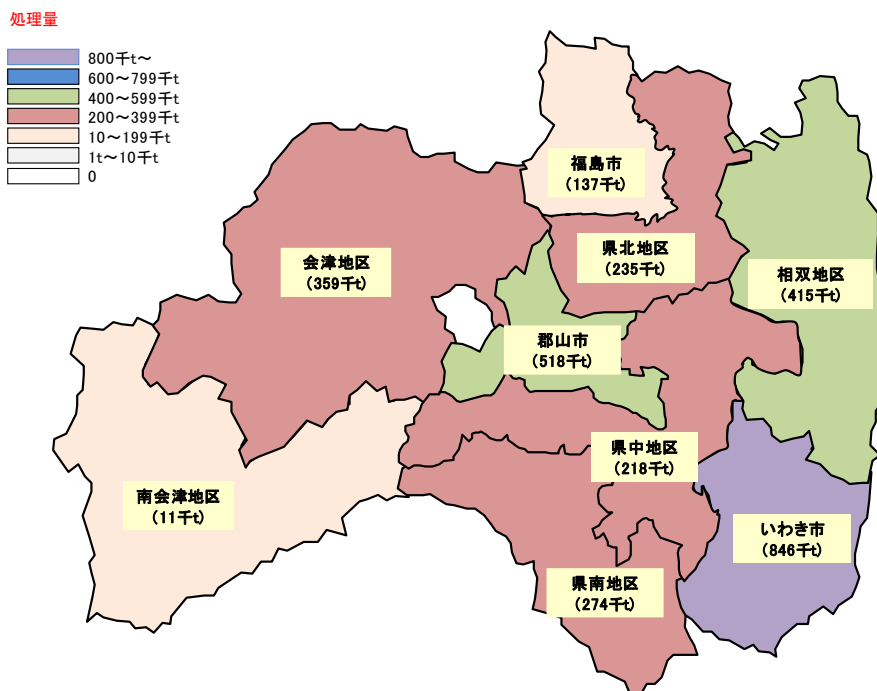


図2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績

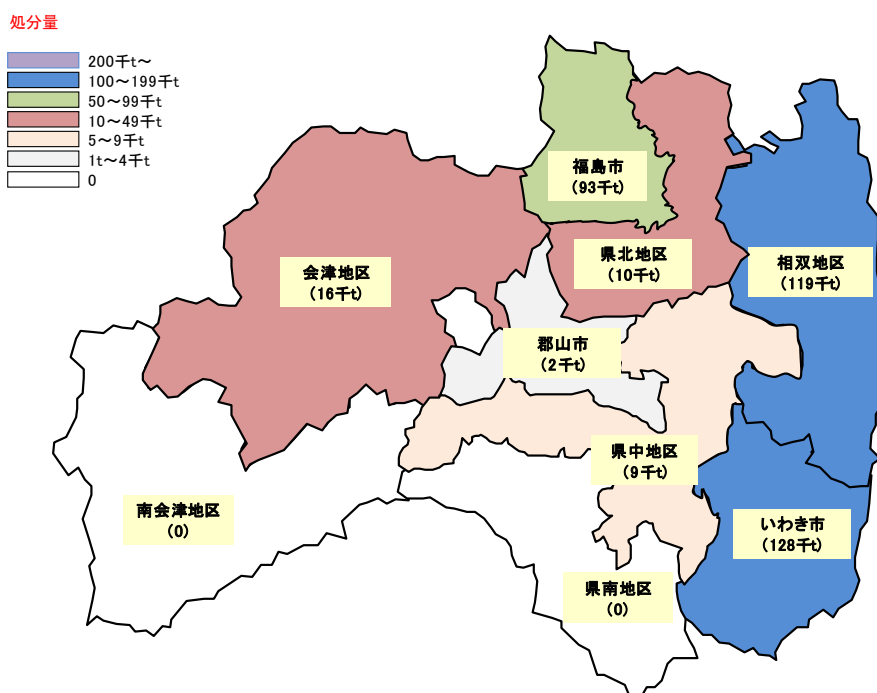


図2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

令和 4 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

(1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

●青枠処理項目

福島県内（福島市、郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物の量は除外した。

●緑枠処理項目

福島県（福島市、郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物を排除した。

(2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**、**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）と災害廃棄物は除外した。

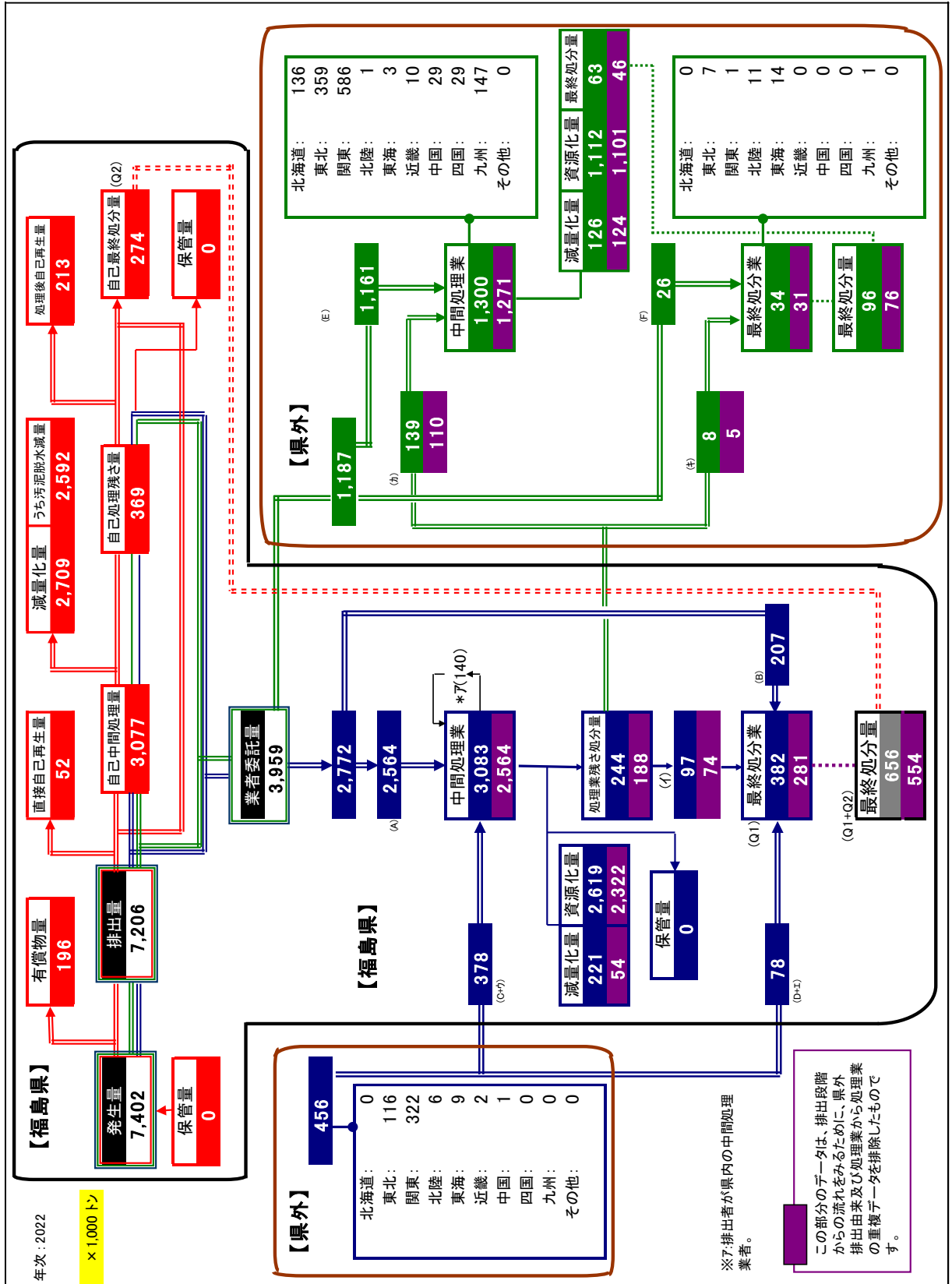


図2-11 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜事業系一般廃棄物・災害廃棄物を含む＞

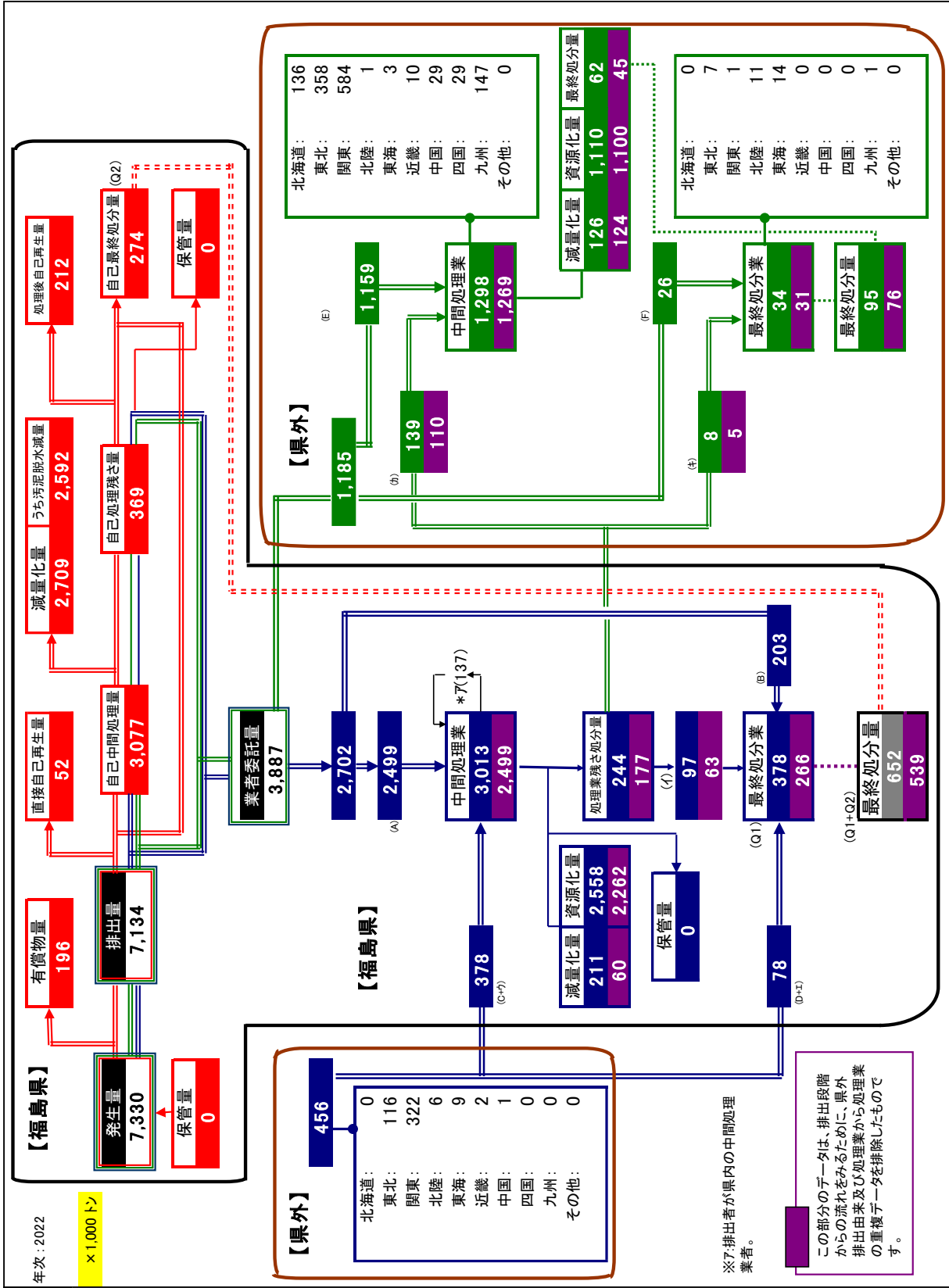


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）<福島県産業廃棄物処理計画進行管理用>

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

令和4年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は3,013千トンとなっており、このうち2,635千トンが県内の排出事業者等から搬入され、378千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は378千トンで、このうち301千トンが県内の排出事業者等から搬入され、78千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,331千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,298千トン、最終処分のために搬出されたものが34千トンとなっている。

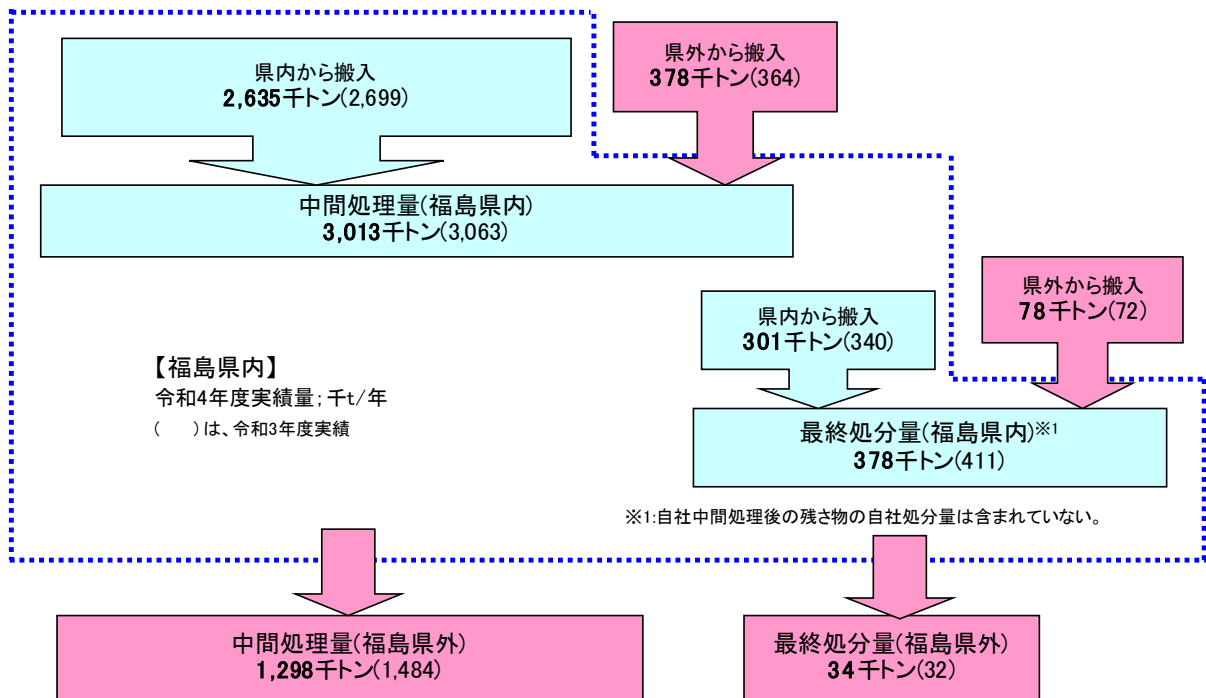


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。中間処理業者の処理量 3,013 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の 55% を占めている。

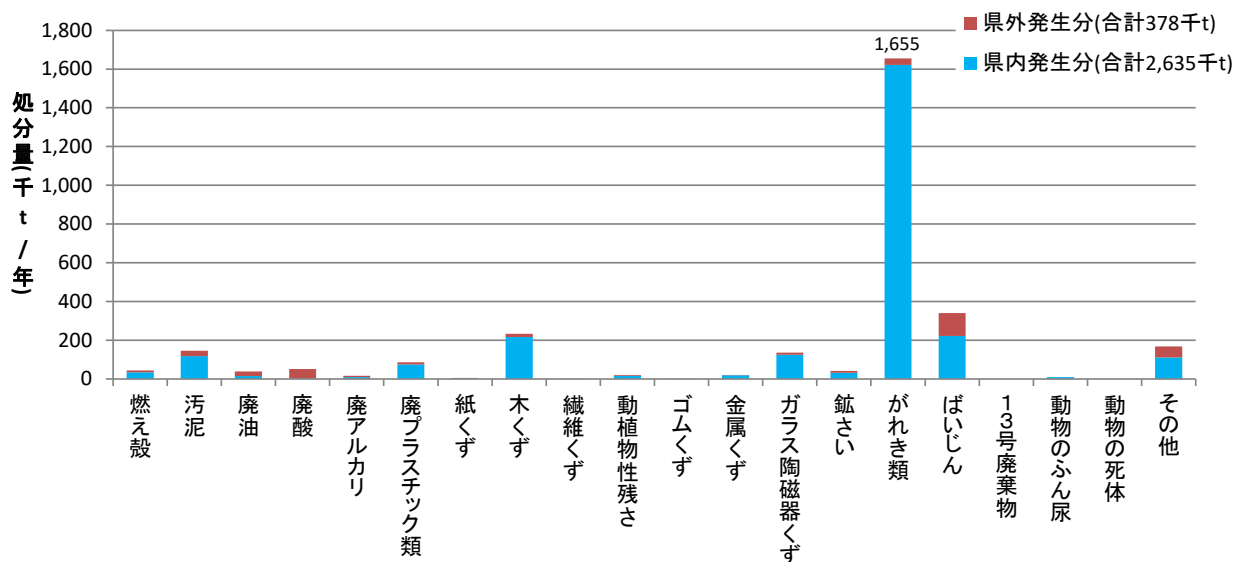


図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 378 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、汚泥、がれき類、燃え殻、廃プラスチック類の順となっており、この 5 種類で全体の 82% を占めている。

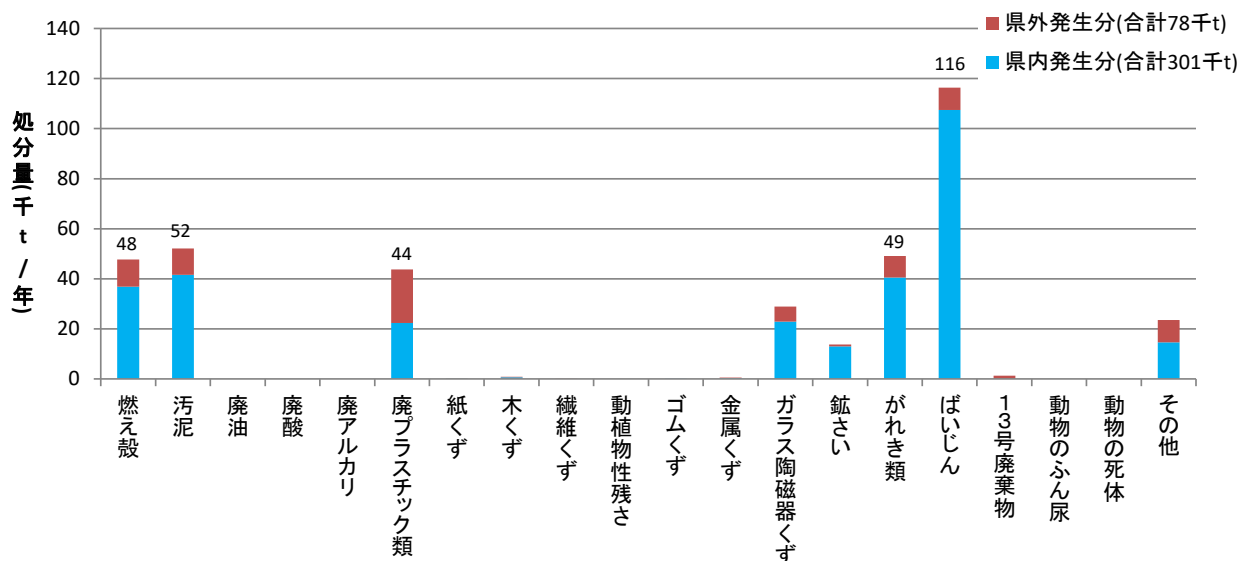


図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,331 千トンのうち、ばいじんが全体の 55%を占めている。なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに資源化されている。

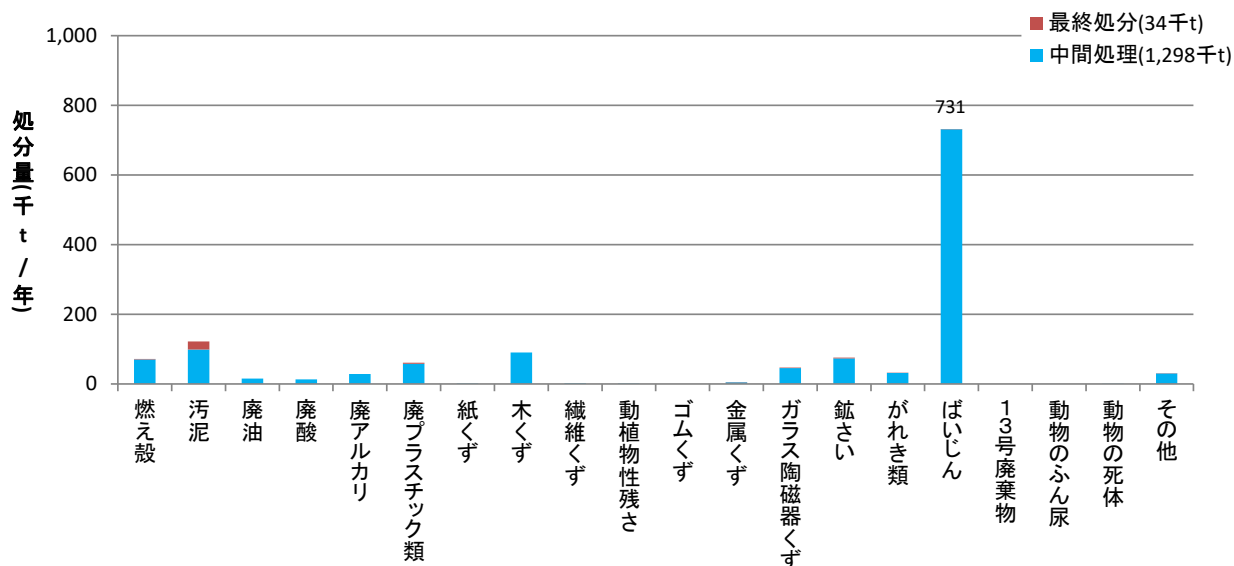


図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5、図 3-6** 及び**表 3-2、表 3-3** のとおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 3,013 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 846 千トンで最も多く、以下、郡山市が 518 千トン、相双地区が 415 千トン、会津地区が 359 千トン、県南地区が 274 千トン、県北地区が 235 千トン、県中地区が 218 千トン等となっている。(図 3-5、表 3-2)

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、相双地区が 527 千トンで最も多く、以下、いわき市が 420 千トン、郡山市が 412 千トン、県外が 378 千トン、会津地区が 246 千トン、県南地区が 214 千トン、県北地区が 199 千トン等となっている。(図 3-6、表 3-3)

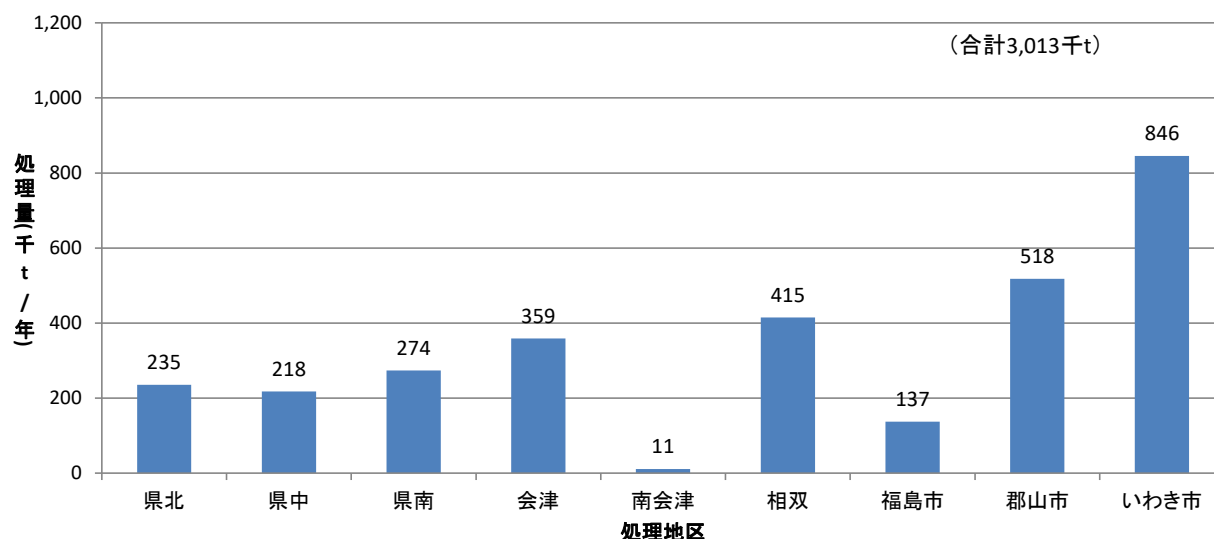
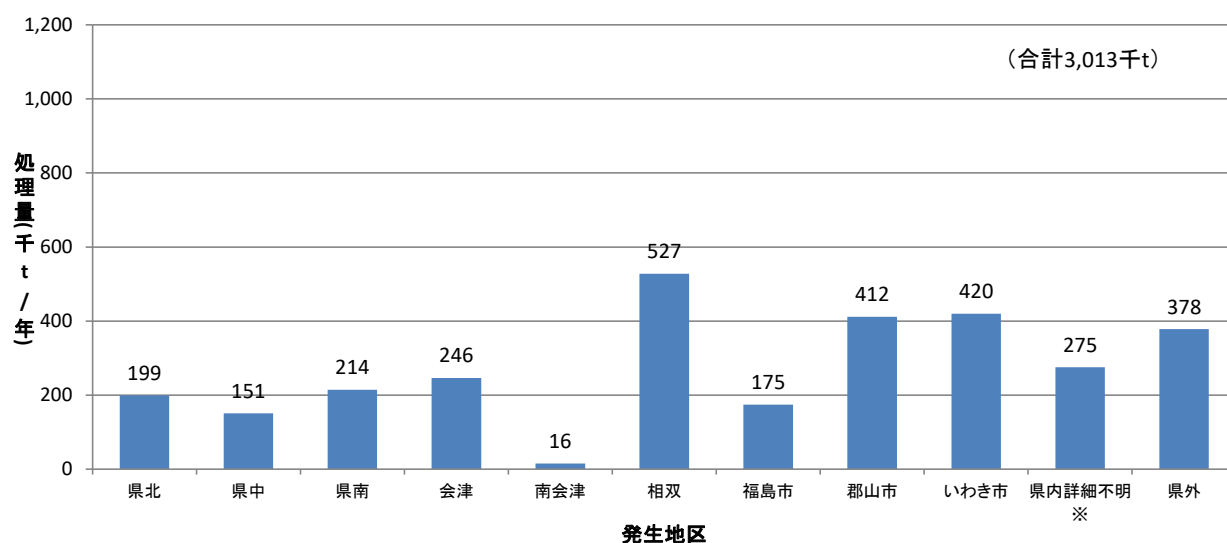


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

(単位：t/年)

種類	処理地区 県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市
合計	3,013,402	235,207	217,893	273,879	359,324	11,184	415,108	137,329	517,841	845,637
燃え殻	44,256		5,911		183		20,806	6,259	7,150	3,948
汚泥	145,331	8,318	19,075	5,069	22,289	40	26,183	8,749	28,495	27,113
廃油	38,769	571		1,661	15,574		87		4,904	15,972
廃酸	50,769		4	216	1,368		240		886	48,056
廃アルカリ	17,037			1,596	4,313		20			11,106
廃プラスチック類	86,388	6,204	16,587	6,601	11,796	53	6,262	4,289	23,072	11,524
紙くず	3,838	4	1,647	231	99	3	194	383	1,010	268
木くず	233,458	8,414	38,599	43,726	34,730	961	12,193	11,589	23,962	59,285
繊維くず	1,889	16	17	40	155	0	186	545	512	419
動植物性残さ	20,125	5,703	7,917	4,167	29		186	1,864	95	164
動物系固形不要物										
ゴムくず	2									2
金属くず	20,324	224	9,724	735	678	45	682	252	5,735	2,250
ガラス陶磁器くず	135,839	10,294	7,042	17,929	20,228	167	13,671	6,154	10,240	50,113
鉱さい	41,460	3,989	957	7,290	2		366	984	17,031	10,841
がれき類	1,655,445	181,617	102,460	184,618	187,211	9,880	250,149	77,793	373,412	288,303
ばいじん	340,805		6,307		41,491		82,603	8,595	14,188	187,622
13号廃棄物										
動物のふん尿	10,135	9,839	86					210		
動物の死体	0									0
その他	167,532	14	1,562		19,178	34	1,280	9,664	7,151	128,650
感染性廃棄物	12,585				2,615		234		119	9,617
混合廃棄物	150,337		1,553		14,491	34	1,046	9,664	7,031	116,518
その他	4,609	14	9		2,072					2,515

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	3,013,402 (100.0%)	199,381 (6.6%)	150,874 (5.0%)	214,247 (7.1%)	246,274 (8.2%)	15,509 (0.5%)	527,484 (17.5%)	174,626 (5.8%)	411,825 (13.7%)	419,985 (13.9%)	275,136 (9.1%)	378,083 (12.5%)	299 (0.0%)	4,570 (0.2%)	67,947 (2.3%)
燃え殻	44,256	1	3	5	14	1	24,752		46	9,708		9,726			136
汚泥	145,331	15,894	7,859	5,126	11,198	534	12,123	3,684	25,400	32,094	3,903	27,516	1	49	1,324
廃油	38,769	1,162	1,088	1,155	1,384	66	595	904	2,589	6,231	571	23,024	0	1,838	584
廃酸	50,769	42	92	45	550	1	67	57	115	1,693	0	48,106	1	2,473	671
廃アルカリ	17,037	709	472	2,252	1,328	10	1,065	66	979	3,116		7,041	25	3	834
廃プラスチック類	86,388	8,053	7,846	6,752	5,706	356	12,315	8,806	12,724	8,465	4,303	11,063	1	3	2,618
紙くず	3,838	330	719	276	225	10	278	416	1,145	376	46	16			11
木くず	233,458	9,734	18,400	13,641	21,629	2,825	17,715	15,165	47,402	47,767	23,001	16,179			406
繊維くず	1,889	344	102	80	182	4	192	306	165	451	61	0			0
動植物性残さ	20,125	2,187	1,857	1,632	139	75	75	4,010	4,342	220	1,884	3,799		3	858
動物系固形不要物															
ゴムくず	2		2												
金属くず	20,324	1,540	3,801	1,292	1,083	108	1,319	2,026	5,473	2,322	712	648	87	66	165
ガラス陶磁器くず	135,839	10,302	9,795	11,218	15,841	169	18,070	10,395	10,825	32,360	5,536	11,328	0	7	3,896
鉱さい	41,460	6,497	1,762	9,199	46		4,520	55	121	9,075		10,185			2,636
がれき類	1,655,445	129,812	91,802	160,432	179,830	11,238	266,171	122,090	292,178	204,380	163,180	34,334			22,293
ばいじん	340,805		122	39	1,559	1	164,901			55,163		119,020	179		28,482
13号廃棄物															
動物のふん尿	10,135	9,839	86	0							210				
動物の死体	0	0	0	0											
その他	167,532	2,935	5,066	1,102	5,559	187	3,306	6,645	8,321	6,566	71,749	56,097	189	4	3,032
感染性廃棄物	12,585	407	222	258	740	32	248	1,350	1,383	1,317		6,629	0		1,072
混合廃棄物	150,337	2,523	4,824	842	4,759	153	2,593	5,229	6,933	4,519	70,141	47,822			1,580
その他	4,609	5	19	2	60	1	464	66	5	730	1,608	1,647	189	4	379

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	1,877 (0.1%)	9,281 (0.3%)	-	104,716 (3.5%)	37,284 (1.2%)	23,114 (0.8%)	42,385 (1.4%)	20,789 (0.7%)	11,343 (0.4%)	11,040 (0.4%)	25,905 (0.9%)	5,826 (0.2%)	84 (0.0%)	175 (0.0%)	407 (0.0%)	963 (0.0%)	268 (0.0%)
燃え殻	59	433	-	2,786	1,906	630	2,074	560		15	474						
汚泥	1,383	1,317	-	3,192	2,977	3,635	2,340	1,158	262	927	6,460	338	22	158	8	292	29
廃油	0	647	-	2,999	808	3,613	603	2,578	803	1,386	4,427	683	56	13	39	81	10
廃酸	0	1,258	-	42,284	204	11	160	347	101	164	130	10	2	1	110	2	2
廃アルカリ	1	160	-	2,497	399	57	150	645	381	818	235	89	2	3	202	0	1
廃プラスチック類	3	289	-	1,249	710	64	1,693	1,028	1,325	1,142	543	59	2	0	5	108	22
紙くず		4	-	0	1				0								
木くず		44	-	3,992	2,553	205	4,050	1,902	1,352	1,590	84						
繊維くず			-		0												
動植物性残さ			-	337			2,513	84									
動物系固形不要物			-														
ゴムくず			-														
金属くず	18	61	-	137	65	1	2	8	5	8	2	2				1	6
ガラス陶磁器くず	5	84	-	4,432	954	985	304	9	295	105	194	25			25	0	
鋳さい		138	-	3,404	325	971	2,142	16	84		470						
がれき類	2	4,687	-	4,888	1,111	316	15	163	79		779						
ばいじん	383	1	-	26,258	15,950	3,036	14,961	4,752	5,790	2,494	9,922	4,122				19	197
13号廃棄物			-														
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他	22	158	-	6,262	9,320	9,590	11,378	7,537	867	2,391	2,184	499	0		19	460	
感染性廃棄物	1	155	-	3,120	1,018	2	133	78	559	206	222		0		19		
混合廃棄物		0	-	3,022	8,289	9,588	11,231	7,174	160	2,134	1,866	471				457	
その他	21	3	-	120	13	0	14	285	147	51	97	28				3	

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

種類	発生地区																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計	3,236 (0.1%)	2,533 (0.1%)	1,149 (0.0%)	117 (0.0%)	27 (0.0%)	1,299 (0.0%)	485 (0.0%)	16 (0.0%)	9 (0.0%)			710 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)		1 (0.0%)	0 (0.0%)
燃え殻												653					
汚泥	179	88	924	76	12	113	217	5	4				1	1		1	0
廃油	781	424	26	6	11	337	197	7	5			57		0		0	0
廃酸	103	5	0	9	1	48	9	1						0			
廃アルカリ	254	12	114	1	3	97	56	1						0			
廃プラスチック類	19	11	32	8	0	2		1									
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ	4																
動物系固形不燃物																	
ゴムくず																	
金属くず	3	6					4	0									
ガラス陶磁器くず	2	3				0		0									
鉱さい																	
がれき類																	
ばいじん		1,984	6	17		468											
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	1,892	0	47			236	2										
感染性廃棄物	42					0											
混合廃棄物	1,850																
その他		0	47			236	2										

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計	0 (0.0%)	4 (0.0%)		0 (0.0%)	5 (0.0%)				1 (0.0%)	
燃え殻		0								
汚泥		0								
廃油	0	4		0	0					
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず									1	
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他					5					
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他					5					

3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で埋立処分された実績量を処分地区別にみると、**図 3-7**、**図 3-8** 及び**表 3-4**、**表 3-5** のとおりである。

県内の最終処分業者の最終処分量 378 千トン処分地区別にみると、いわき市が 128 千トンで最も多く、以下、相双地区が 119 千トン、福島市が 93 千トン等となっている。(図 3-7、表 3-4)

県内の最終処分場で埋立処分された実績量を委託元である発生地区別にみると、相双地区が 133 千トンで最も多く、以下、県外が 78 千トン、いわき市が 62 千トン、郡山市が 29 千トン、会津地区が 25 千トン、福島市が 21 千トン、県中地区が 10 千トン等となっている。(図 3-8、表 3-5)

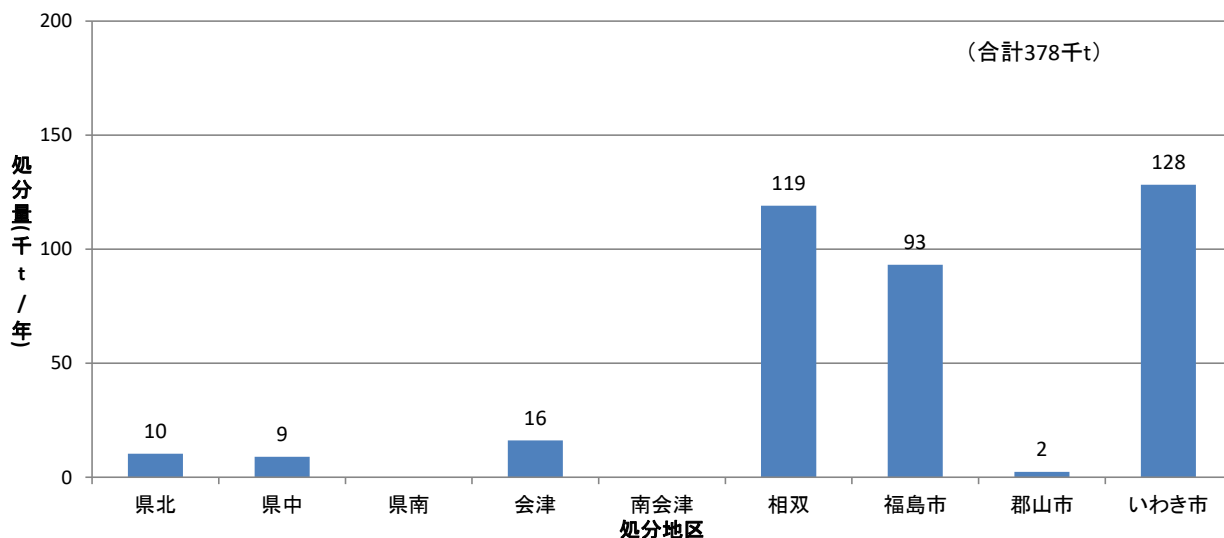
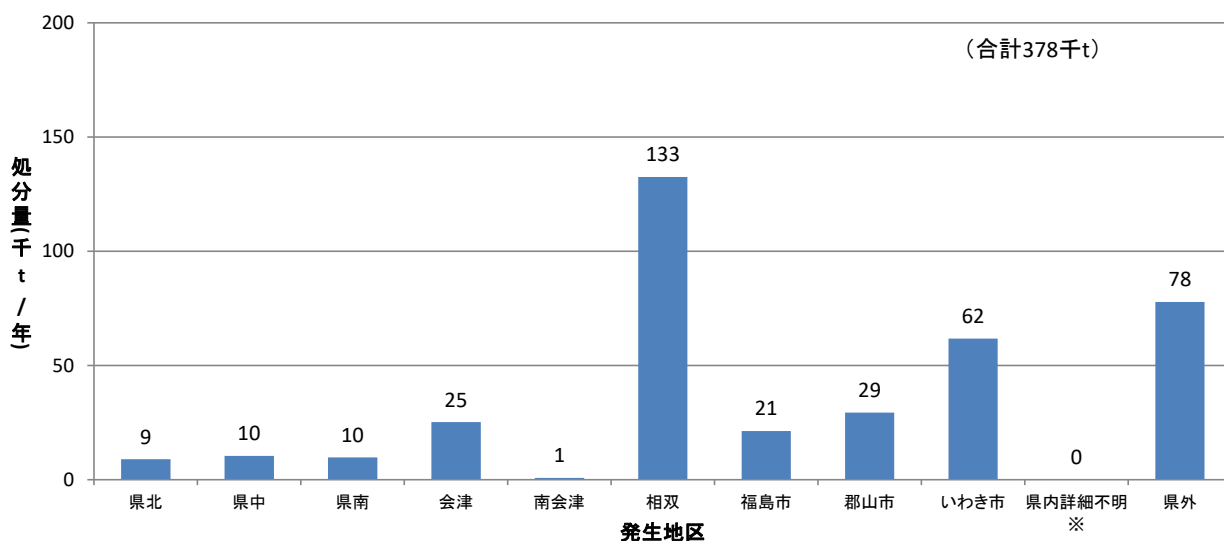


図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

(単位：t/年)

種類	処分地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		378,336	10,357	9,021		16,129		119,034	93,135	2,371	128,288
燃え殻		47,775		124		5,631		12,295	18,212	13	11,500
汚泥		52,169	4,382	794		3,580		3,027	25,781	1,850	12,755
廃油											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類		43,776	296	1,589		3		3,059	1,780	197	36,853
紙くず		80							80		0
木くず		907							907		
繊維くず		40							40		
動植物性残さ											
動物系固形不要物											
ゴムくず		4							4		
金属くず		577	1	4		6			253	20	293
ガラス陶磁器くず		28,895	2,039	782		614		1,002	3,207	12	21,238
鉱さい		13,754	1,861			2,144			7,325	249	2,175
がれき類		49,105	1,778	2,208		343		1,699	21,082	30	21,965
ばいじん		116,312		298		375		89,007	13,162		13,471
13号廃棄物		1,331							1,301		30
動物のふん尿											
動物の死体											
その他		23,610		3,222		3,434		8,945	2		8,008
	感染性廃棄物										
	混合廃棄物	23,486		3,222		3,311		8,945			8,008
	その他	124				123			2		

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	378,336 (100.0%)	8,983 (2.4%)	10,498 (2.8%)	9,743 (2.6%)	25,235 (6.7%)	794 (0.2%)	132,556 (35.0%)	21,332 (5.6%)	29,415 (7.8%)	61,817 (16.3%)	175 (0.0%)	77,788 (20.6%)		760 (0.2%)	3,488 (0.9%)
燃え殻	47,775	122	272	834	7,664	3	13,788	3,428	2,012	8,784		10,868		286	5
汚泥	52,169	3,464	3,343	1,131	5,174	142	8,919	4,175	5,433	9,794	78	10,518		309	
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	43,776	1,844	1,681	2,166	601	29	3,204	2,254	2,006	8,620	5	21,367			641
紙くず	80									0		80			
木くず	907		679									228		164	
繊維くず	40											40			
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴムくず	4								4						
金属くず	577	14	3	125	4		8	68	32	96		227			20
ガラス陶磁器くず	28,895	538	1,470	914	1,236	256	5,372	1,465	5,791	5,773	92	5,987			234
鉱さい	13,754	550	158	308	6,058	177	5,352	158	205	23		766			
がれき類	49,105	2,323	1,753	1,491	1,665	175	5,434	8,386	13,445	5,853	0	8,579			316
ばいじん	116,312		902	2,763	1,685		89,610	89		12,454		8,809			2,272
13号廃棄物	1,331											1,331			
動物のふん尿															
動物の死体															
その他	23,610	129	238	11	1,148	12	888	1,304	492	10,421		8,988			
感染性廃棄物															
混合廃棄物	23,486	126	237		1,136	8	841	1,275	464	10,412		8,988			
その他	124	4	1	11	12	4	26	29	28	9					

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	525 (0.1%)	246 (0.1%)	-	5,673 (1.5%)	15,751 (4.2%)	14,631 (3.9%)	19,088 (5.0%)	2,893 (0.8%)	4,951 (1.3%)	8,381 (2.2%)	711 (0.2%)				17 (0.0%)	672 (0.2%)	
燃え殻			-	261	1,999	746	5,349	1,071	5	635	510						
汚泥			-	3,097	616	1,918	3,354		1,204	7	12						
廃油			-														
廃酸			-														
廃アルカリ			-														
廃プラスチック類	39	37	-	342	1,257	8,692	4,461	450	1,576	3,436					16	419	
紙くず			-	3	77												
木くず			-	3	61												
繊維くず			-		40												
動植物性残さ			-														
動物系固形不要物			-														
ゴムくず			-														
金属くず			-	3	203				1								
ガラス陶磁器くず		4	-	703	1,438	217	1,857	1	1,049	234	158				0	93	
鉱さい			-		599	22	114				31						
がれき類		73	-	585	2,373	605	2,711	491	1,117	146					1	160	
ばいじん		133	-	484	2,342	1,229	1,242	880		228							
13号廃棄物			-		1,163					168							
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他	486		-	191	3,583	1,202	0	0	1	3,526							
感染性廃棄物			-														
混合廃棄物	486		-	191	3,583	1,202	0	0	1	3,526							
その他			-														

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																	
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	
合計	0 (0.0%)					0 (0.0%)												
燃え殻																		
汚泥																		
廃油																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類						0												
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず																		
ガラス陶磁器くず																		
鉱さい																		
がれき類	0																	
ばいじん																		
13号廃棄物																		
動物のふん尿																		
動物の死体																		
その他																		
感染性廃棄物																		
混合廃棄物																		
その他																		

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞
 (単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計										
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

4.1 多量排出事業者等における報告状況

多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実施報告書の報告数をみると、表 4-1 及び表 4-2 のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は 367 事業者、指定排出事業者の実施報告は 32 業者となっている。また、その他年間の発生量が 500 t 未満の事業者の報告が 43 件あった。

表 4-1 多量排出事業者等における報告状況（令和 4 年度実績）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)		
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他	
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市			
農業・林業														
漁業														
鉱業														
建設業	148	144	103	14	12	15	4	3	1				19	11
製造業	171	103	56	8	10	29	68	35	4	10	19		11	22
電気・ガス・ 水道業	29	28	16	1	3	8	1	1					1	
情報通信業													1	
運輸・郵便業	2	1	1				1							1
卸・小売業														
金融・保険業														
不動産業・ 物品賃貸業														
専門サービス業														
宿泊業・ 飲食サービス業														
生活関連 サービス業														1
教育・学習 支援業														
医療・福祉業	13						13	5	3	2	3			8
複合サービス業														
サービス業	3	3	2		1									
公務	1	1	1											
計	367	280	179	23	26	52	87	44	8	12	23		32	43

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における令和 5 年度の発生量の目標値の報告数は表 4-2 のとおりであり、産業廃棄物に係るものが 243 事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが 82 事業者の合計 325 事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における目標値の報告状況（令和 5 年度）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者										(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	
農業・林業												
漁業												
鉱業												
建設業	120	118	86	10	11	11	2	2				22
製造業	160	93	50	7	8	28	67	33	3	10	21	15
電気・ガス・ 水道業	28	28	16	1	3	8						1
情報通信業												1
運輸・郵便業	1						1				1	1
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業・ 物品賃貸業												
専門サービス業												
宿泊業・ 飲食サービス業												
生活関連 サービス業												
教育・学習 支援業												
医療・福祉業	12						12	4	3	2	3	
複合サービス業												
サービス業	3	3	2		1							1
公務	1	1	1									
計	325	243	155	18	23	47	82	39	6	12	25	41

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

令和4年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実施報告で集計した排出量（発生量－有償物量）をみると、図4-1、図4-2、表4-3、表4-4のとおりである。

排出量5,456千トン種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（図4-1、表4-3）

排出量を業種別にみると、製造業が最も多く、以下、電気・ガス・水道業、建設業等となっている。（図4-2、表4-4）

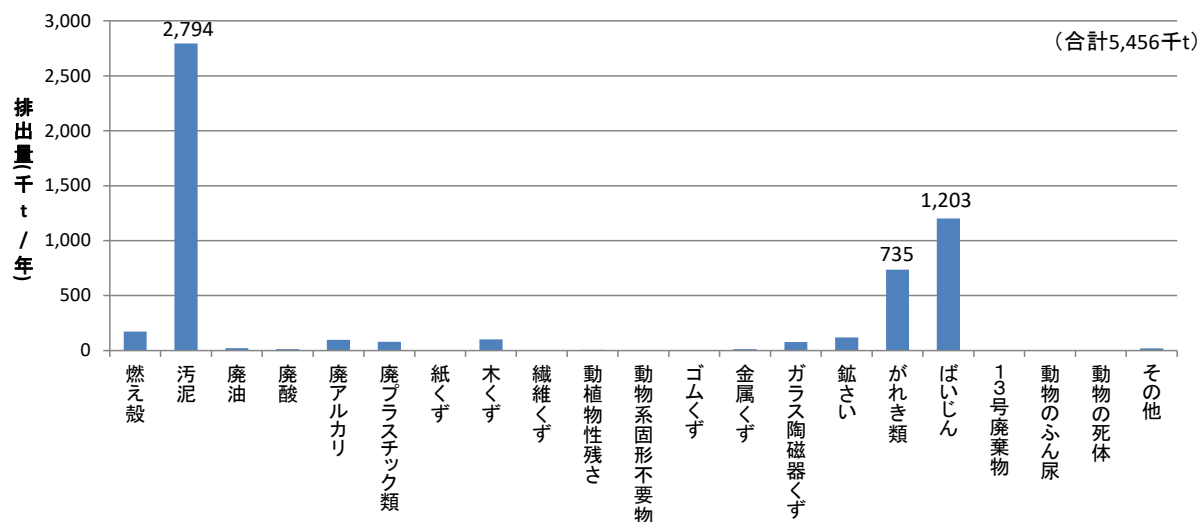


図4-1 多量排出事業者等の種類別の産業廃棄物排出量

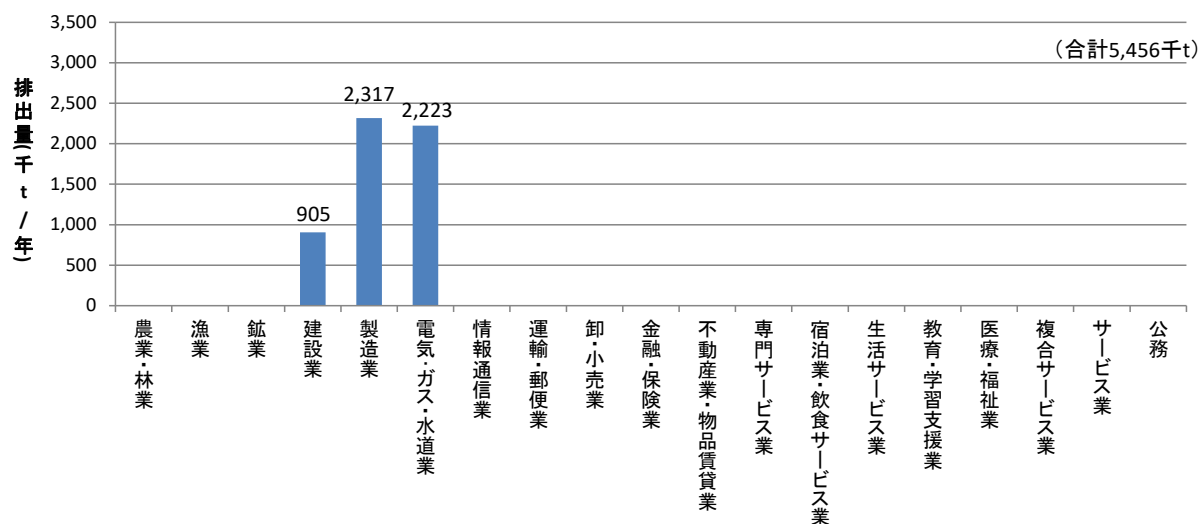


図4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託 処理量
	排出量	有償物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量					
					減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処分 量		
合計	5,456 (100.0%)	196 (3.5%)	52 (0.9%)	227 (4.0%)	2,805 (49.6%)	2,595 (45.9%)	209 (3.7%)	37 (0.7%)	40 (0.7%)	2,504 (44.3%)
燃え殻	172	7	13	37						123
汚泥	2,794	131	27	0	2,660	2,502	158	0	40	224
廃油	23	1	0		3	3				20
廃酸	12	0	0		2	2	0	0		10
廃アルカリ	96				59	58	1	1		38
廃プラスチック類	79	0	3	0	39	31	8	3		42
紙くず	5	2	1		1	0	1	1		3
木くず	101	1	3		1	0	1	0		98
繊維くず	2				0		0			2
動植物性残さ	7									7
動物系固形不要物	0									0
ゴムくず	0									0
金属くず	12	9	4	0	0		0	0		8
ガラス陶磁器くず	76		1	2	5	0	5	4		69
鉱さい	119	2			20		20	14		105
がれき類	735			1	15		15	15		720
ばいじん	1,203	44		187	0	0	0	0		1,015
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他	19			0	0	0	0	0		19
感染性廃棄物	2									2
混合廃棄物	13			0	0		0	0		13
その他	4				0	0	0			4

表4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託 処理量
	排出量	有償物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量	
合計	5,456 (100.0%)	196 (3.5%)	52 (0.9%)	227 (4.0%)	2,805 (49.6%)	2,595 (45.9%)	209 (3.7%)	37 (0.7%)	40 (0.7%)	2,504 (44.3%)
農業・林業										
漁業										
鉱業										
建設業	905	3	3	1	16		16	15		886
製造業計	2,317	11	36	2	1,943	1,819	124	22	40	397
食料品	19				9	8	1			11
飲料・飼料	3									3
繊維										
木材	1									1
家具										
パルプ・紙	1,320	3	1		1,290	1,247	43	3	0	69
印刷	15	0	4		6	4	2	1		5
化学	572	1	27	0	479	434	45		39	71
石油・石炭										
プラスチック	1									1
ゴム										
皮革										
窯業・土石	88	0	1	1	15	9	6	4	0	73
鉄鋼	12									12
非鉄金属	67				54	52	2	0		16
金属	2	0			0	0	0			2
はん用機器	1									1
生産用機器										
業務用機器	6									6
電子部品	22			0	8	6	1		1	15
電気機器	45				30	28	2	1		17
情報通信機器	29				29	28	1	0		1
輸送用機器	112	6	4		22	2	21	14		93
その他製造業	0									0
電気・ガス・水道業	2,223	183	13	224	846	776	70	0		1,210
電気業	1,396	183	13	224	22	19	2			1,140
ガス業										
熱供給業										
上水道業	56				54	51	2			5
工業用水道業										
下水道業	771				771	706	66	0		66
情報通信業	1									1
運輸・郵便業	3									3
卸・小売業										
金融・保険業										
不動産業・物品賃貸業										
専門サービス業										
宿泊業・飲食サービス業										
生活サービス業	0	0			0	0	0			0
教育・学習支援業										
医療・福祉業	3									3
複合サービス業										
サービス業	4	0								4
公務										
その他										

第5章 産業廃棄物の処理状況

5.1 再生利用の状況

1 再生利用量

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,665 千トン（46%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 951 千トン（26%）、木くずが 223 千トン（6%）、汚泥が 221 千トン（6%）となっている。

業種別にみると、建設業が 1,988 千トン（55%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 1,092 千トン（30%）、製造業が 380 千トン（10%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

(単位：千t/年)

業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	3,626 (100%)	90 (2%)	1,988 (55%)	380 (10%)	1,092 (30%)	3 (0%)	5 (0%)	2 (0%)	46 (1%)	19 (1%)
燃え殻	187 (5%)		2	66	118	0	0	0	1	0
汚泥	221 (6%)	90	33	61	32	0	0	0	3	1
廃油	12 (0%)		0	5	0	1	0	0	5	0
廃酸	3 (0%)		0	3				0	0	0
廃アルカリ	2 (0%)		0	1		0	0	0	0	0
廃プラスチック類	82 (2%)	0	25	30	1	1	4	1	19	2
紙くず	5 (0%)		3	2						0
木くず	223 (6%)		220	3		0	0		0	0
繊維くず	2 (0%)		2							
動植物性残さ	17 (0%)			17						
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず	25 (1%)	0	10	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	127 (3%)	0	21	89	5	1	1	0	8	1
鉱さい	80 (2%)		1	64	15				0	0
がれき類	1,665 (46%)		1,659	3						3
ばいじん	951 (26%)		0	29	922				0	0
動物のふん尿	10 (0%)									10
その他	14 (0%)		11	0	0	0	0	0	2	1

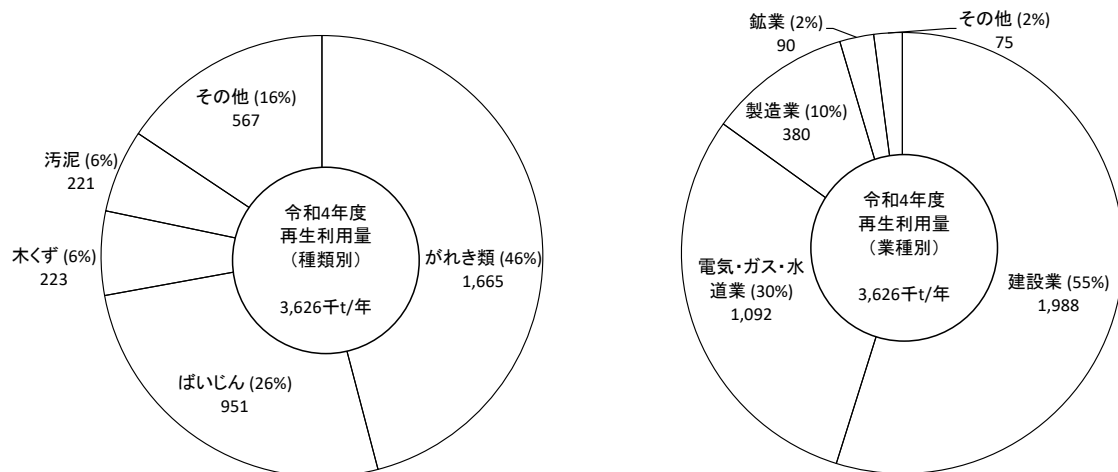


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

2 資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

資源化用途別にみると、建設資材が 1,986 千トンで最も多く、以下、工業用原料等が 1,186 千トン、セメント原料が 700 千トン、堆肥化が 73 千トン、燃料が 48 千トンとなっている。

① 工業用原料等（1,186 千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再使用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

② 建設資材（1,986 千トン）

がれき類等を破碎、選別等し、建設資材として資源化。

③ セメント原料（700 千トン）

セメント工場で原（燃）料として資源化。主に火力発電所のばいじん。

④ 堆肥化（73 千トン）

堆肥として資源化。主に有機性汚泥や動植物性残さ。

⑤ 燃料（48 千トン）

破碎・選別・圧縮等により燃料として資源化。主に廃プラスチック、木くず。

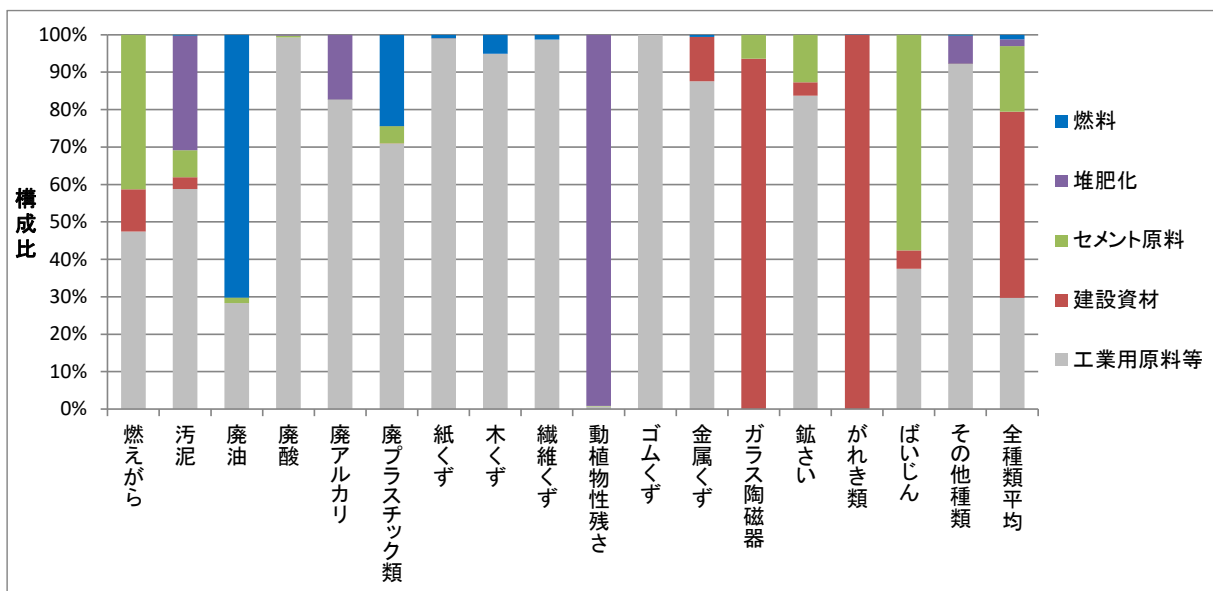


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

用途 種類	工業用原料等	建設資材	セメント原料	堆肥化	燃料	計
燃えがら	53	13	46			112
汚泥	77	4	9	40	0	130
廃油	4		0		9	13
廃酸	48		0	0		48
廃アルカリ	3		0	1		4
廃プラスチック類	68	0	4	0	23	95
紙くず	4	0			0	4
木くず	283	0		0	15	299
繊維くず	3				0	3
動植物性残さ	0		0	22		22
ゴムくず	0					0
金属くず	21	3			0	24
ガラス陶磁器	0	118	8			126
鉱さい	96	4	15			114
がれき類		1,792			0	1,792
ばいじん	401	52	617			1,070
その他種類	125	0	0	10	0	136
全種類平均	1,186	1,986	700	73	48	3,993

5.2 最終処分状況

1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 281 千トン（46%）と最も多く、以下、汚泥が 98 千トン（16%）、燃え殻が 78 千トン（13%）、がれき類が 39 千トン（6%）となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 353 千トン（57%）と最も多く、以下、建設業が 137 千トン（22%）、製造業が 94 千トン（15%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種										
処分 時点の 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガ ス・水道 業	運輸・郵 便業	卸・小売 業	医療・福 祉業	サービ ス業	その他 の業種
合計	615 (100%)	0 (0%)	137 (22%)	94 (15%)	353 (57%)	2 (0%)	1 (0%)	3 (0%)	23 (4%)	2 (0%)
燃え殻	78 (13%)		8	12	56	0	0	1	1	0
汚泥	98 (16%)		21	58	12	1	0	0	5	0
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	30 (5%)	0	17	5	0	1	0	0	6	1
紙くず	1 (0%)		1	0						0
木くず	8 (1%)		8	0						0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	0 (0%)			0						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	1 (0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	38 (6%)		21	12	0	0	0	1	4	0
鉱さい	8 (1%)		0	2	6	0			0	0
がれき類	39 (6%)		39	0						0
ばいじん	281 (46%)		0	2	279					0
動物のふん尿										
その他	32 (5%)		21	2	0	0	0	1	7	0

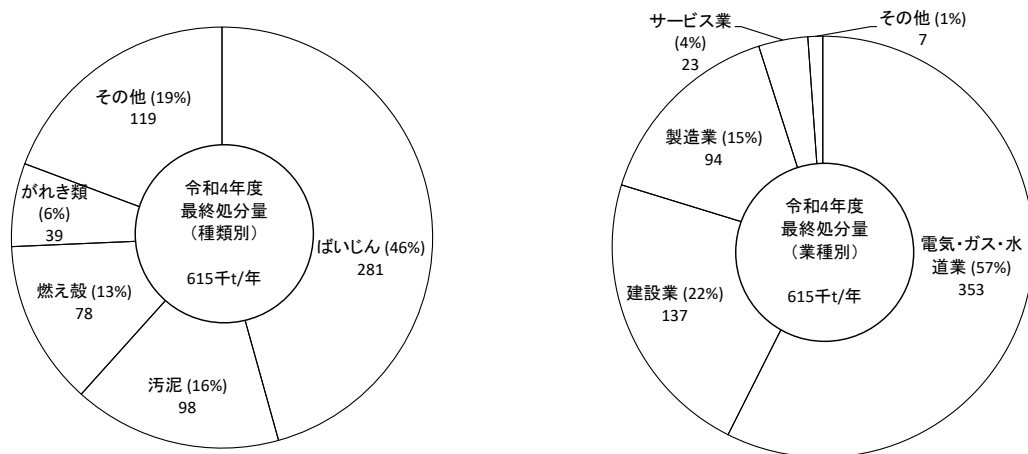


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、令和5年3月31日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

(1) 最終処分場の稼働状況

令和5年3月31日時点における最終処分場の稼働状況は、表5-4のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は19施設であり、管理型が8施設、安定型が11施設となっている。

これらの残余容量は、3,430千m³となっており、管理型が2,097千m³、安定型が1,333千m³となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（令和5年3月31日時点）

	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
施設数 計	19	2	2		1		2	3	1	8
管理型	8	1	1		1			2	1	2
安定型	11	1	1				2	1		6
残余容量 計(千m ³)	3,430.0	1.2	372.1		268.3		265.0	1,143.9	12.6	1,366.8
管理型	2,096.9	1.0	196.4		268.3			1,026.0	12.6	592.6
安定型	1,333.1	0.2	175.7				265.0	117.9		774.2

(2) 最終処分場の残余年数の推計

令和5年3月31日時点の残余容量と当該最終処分場の令和4年度処分実績量は図5-4のとおりである。各最終処分場の許可上の容量から算出される、令和5年3月31日現在の残余容量を用いて計算した。

既存の最終処分場での令和4年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で10.7年、安定型で13.2年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/m³と設定している。

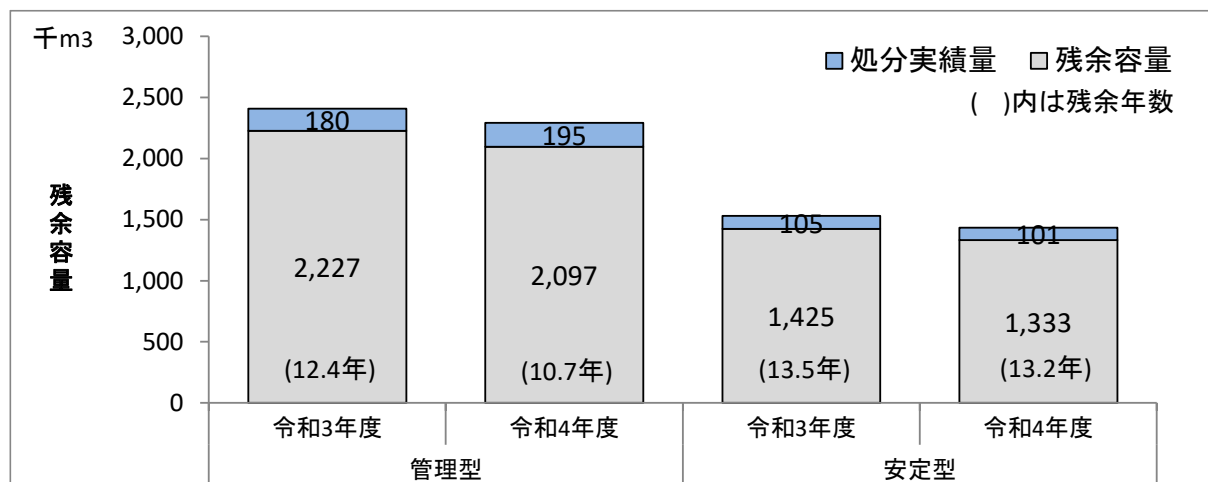


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計 (実績量基準)

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。

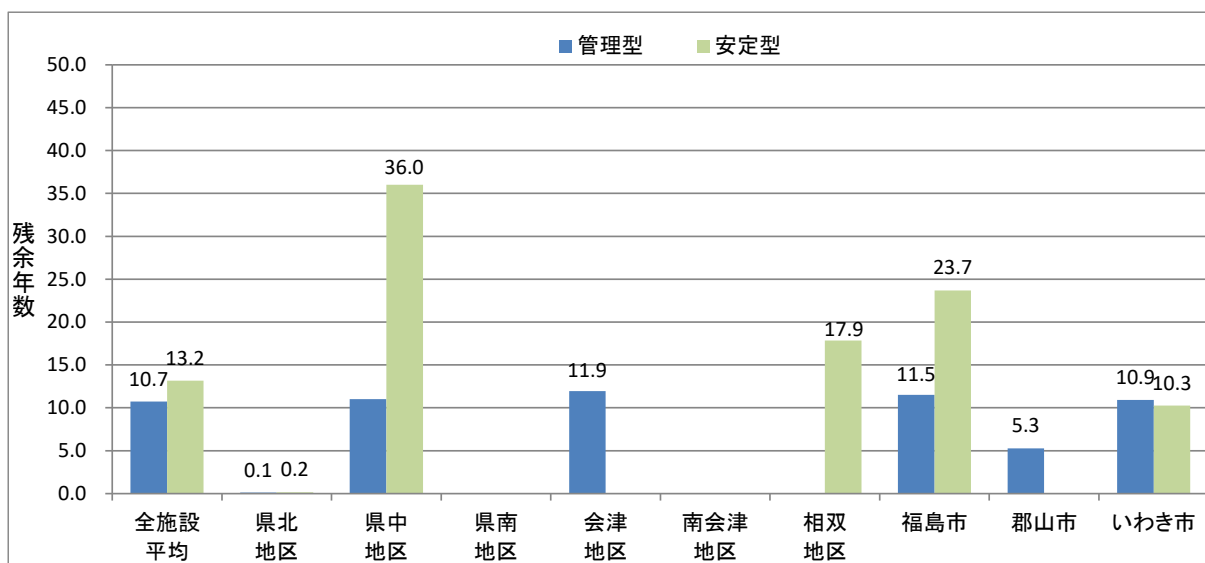


図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定 (令和 4 年度の最終処分実績を基準)

福島県廃棄物処理計画 (令和 4 年 1 月) では、令和元年度の最終処分率 7%を令和 8 年度に 6%以下とする削減目標を設定しているが、令和 4 年度の最終処分率は 9%と目標を達成していない。

令和 4 年度以降の最終処分量が令和 4 年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で 10.7 年、安定型で 13.2 年と推計される。

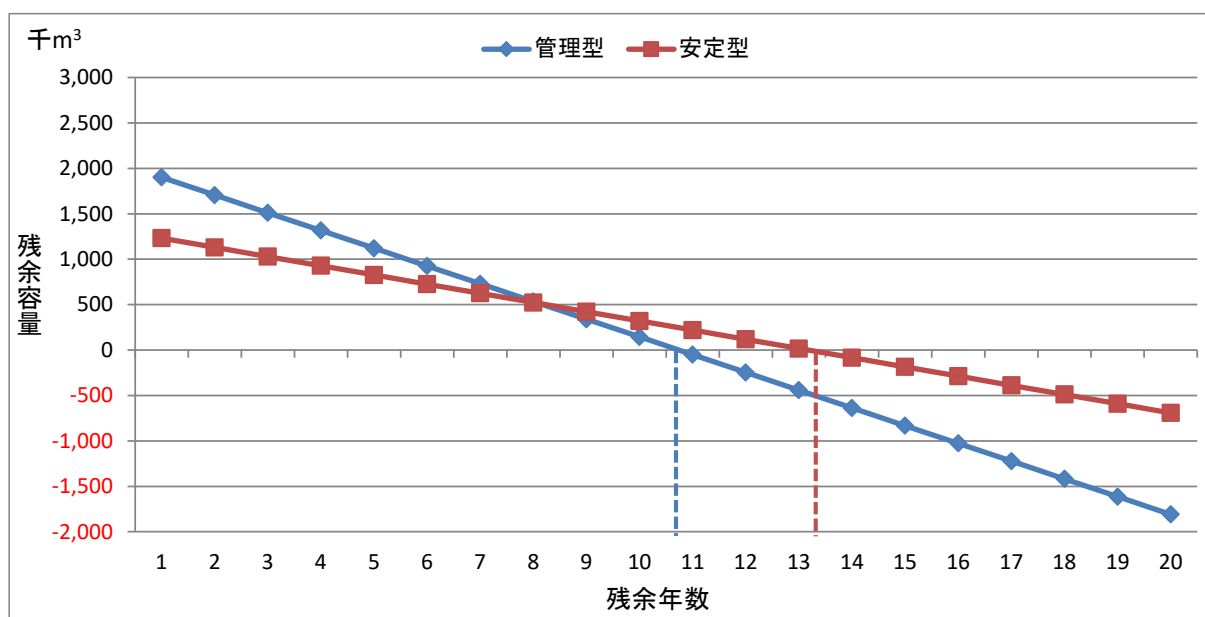


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計

第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

6.1 データ整備等の内容

1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<p><台帳> ①報告者氏名 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード</p> <p><廃棄物データ> ⑤行番号 ⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数 ⑨運搬受託者の許可番号 ⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード ⑫処分受託者の許可番号 ⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称 ⑮処分場所のコード</p>

2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

令和 4 年度実績として福島県(福島市、郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 7,441 件、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 407,664 枚、排出量は 1,469 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 13,586 件、交付枚数 412,396 枚、排出量は 2,790 千トンとなっており、両者を合わせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 21,027 件、交付枚数が 820,060 枚、排出量が 4,258 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 8,094 件、報告事業者数(ID2)が 8,393 件、報告事業場数(ID3)が 20,321 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
県 所 管	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,715	1,947	2,050	3,689	220,527	889,839
	電子マニフェスト登録等状況報告書	6,242	1,553	1,628	5,836	207,647	1,738,894
	(3市除く)	9,957	3,500	3,678	9,525	428,174	2,628,733
福 島 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,094	665	674	1,081	49,211	136,888
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,472	792	811	2,399	54,043	129,099
		3,566	1,457	1,485	3,480	103,254	265,986
郡 山 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,410	850	872	1,390	66,980	182,569
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,704	807	830	2,623	65,727	161,957
		4,114	1,657	1,702	4,013	132,707	344,525
い わ き 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,222	799	819	1,207	70,946	259,628
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,168	681	709	2,096	84,979	759,572
		3,390	1,480	1,528	3,303	155,925	1,019,199
合 計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	7,441	4,261	4,415	7,367	407,664	1,468,923
	電子マニフェスト登録等状況報告書	13,586	3,833	3,978	12,954	412,396	2,789,521
		21,027	8,094	8,393	20,321	820,060	4,258,444

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交 付 枚 数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	472,002	441,769	433,307	414,066	439,460	407,664
	電子マニフェスト登録等状況報告書	261,585	298,246	351,656	374,189	399,202	412,396
	計	733,587	740,015	784,963	788,255	838,662	820,060
排 出 量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	2,381	2,140	2,139	1,961	1,705	1,469
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,313	2,587	2,838	2,786	2,970	2,790
	計	4,694	4,727	4,977	4,747	4,675	4,258

2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 1,387 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,345 千トン、汚泥が 332 千トン、木くずが 263 千トン等となっている。(表 6-3)

業種別にみると、建設業が 1,621 千トンで最も多く、以下、電気・ガス・水道業が 1,572 千トン、製造業が 636 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、電気業から排出されるばいじんのうち、自社処分場へ運搬された運搬実績及び船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理（2次マニフェスト）による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,258	2,629	266	345	1,019	820,060	428,174	103,254	132,707	155,925
燃え殻	211	138	5	1	68	12,875	8,204	588	202	3,881
汚泥	332	117	11	54	151	45,886	19,767	2,944	8,336	14,839
廃油	36	15	2	4	14	42,979	19,329	5,946	8,305	9,399
廃酸	18	11	0	2	5	4,913	2,583	359	969	1,002
廃アルカリ	43	28	1	5	9	8,412	4,811	584	1,412	1,605
廃プラスチック類	169	105	15	19	31	164,605	81,595	27,274	28,015	27,721
紙くず	4	2	1	1	0	10,016	4,672	1,574	2,447	1,323
木くず	263	168	25	24	47	84,271	47,315	7,438	12,159	17,359
繊維くず	4	1	0	0	2	3,573	1,255	287	600	1,431
動植物性残さ	12	6	1	5	0	6,910	2,749	778	3,225	158
動植物系固形不要物	0			0		52			52	
ゴムくず	0	0	0	0	0	103	58	5	17	23
金属くず	23	12	3	5	3	24,004	10,033	3,444	6,545	3,982
ガラス・陶磁器くず	172	76	18	13	64	52,726	21,997	8,800	8,045	13,884
鋳さい	138	115	10	2	12	12,475	10,640	611	156	1,068
がれき類	1,345	835	161	200	150	232,567	145,143	25,316	35,251	26,857
動物のふん尿	1	1				542	542			
動物の死体	0	0	0	0	0	125	86	20	7	12
ばいじん	1,387	959	0		427	29,307	14,757	34		14,516
コンクリート固化物										
その他	98	39	12	10	36	83,719	32,638	17,252	16,964	16,865
感染性廃棄物	6	2	2	1	1	33,897	12,573	8,578	7,633	5,113
混合廃棄物等	91	37	11	9	35	49,822	20,065	8,674	9,331	11,752

表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,258	2,629	266	345	1,019	820,060	428,174	103,254	132,707	155,925
農業・林業	3	1	0	1	1	987	613	20	219	135
漁業										
鉱業	7	2	4	0	0	1,982	892	985	96	9
建設業	1,621	969	156	239	256	398,586	229,285	43,866	65,134	60,301
製造業	636	329	27	33	246	133,438	70,583	9,303	15,389	38,163
電気・ガス・水道業	1,572	1,105	3	3	462	42,176	24,878	451	381	16,466
情報通信業	3	1	0	0	1	1,768	783	387	294	304
運輸・郵便業	11	6	1	1	3	7,065	2,673	971	2,172	1,249
卸・小売業	34	14	6	10	5	87,046	37,261	17,677	18,252	13,856
金融・保険業	0	0	0	0	0	124	35	38	30	21
不動産業・物品賃貸業	12	5	4	1	1	7,448	2,582	1,726	1,316	1,824
専門サービス業	1	0	0	1	0	1,918	536	454	576	352
宿泊業・飲食サービス業	2	1	0	1	0	12,639	4,765	3,353	2,660	1,861
生活関連サービス業	1	1	0	0	0	512	382	21	36	73
教育・学習支援業	1	0	0	0	0	595	52	274	156	113
医療・福祉業	12	5	3	2	2	59,592	22,377	15,304	13,005	8,906
複合サービス業	0	0	0	0	0	226	39	21	20	146
サービス業	291	164	61	23	42	56,276	27,475	8,007	9,675	11,119
公務	53	23	0	30	0	7,646	2,946	396	3,286	1,018
その他	0	0		0	0	36	17		10	9

6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の令和4年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理票交付等状況報告」（廃棄物処理法第12条の3第6項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、福島市、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDaを更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDbを更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は41,078件であり地域別の対象者数は、表6-6のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが1,266件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (IDa)	排出事業者数 (IDb)	排出事業場数 (IDc)
県所管	16,241	17,841	23,041
県北地区			4,464
県中地区			4,627
県南地区			3,643
会津地区			4,840
南会津地区			407
相双地区			3,794
詳細不明			1,266
福島市	4,462	4,968	4,968
郡山市	6,177	6,761	6,761
いわき市	5,122	5,625	5,625
合計	32,002	35,195	41,078

*1:IDa、IDb は、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

*2:福島市、郡山市、いわき市は IDa の整理時点で同市を分離しているため、IDb と IDc は同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添の CD-ROM に格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表 6-7 のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ

統計表1 業種別・種類別の排出量〔令和4年度〕

業種	種類	燃え殻		汚泥		廃油		廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス類	プラスチック類	動物のふん	動物の死体	その他	感受性廃棄物	混合廃棄物	その他		
		合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ																		廃プラスチック類	紙くず
合計		7,134	174	3,022	174	36	18	101	164	7	250	4	18	4	0	27	166	141	1,704	1,233	10	1	58	6	46	5
農業、林業		13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0
農業		13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0
林業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業		165	0	165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業		2,170	4	73	4	1	0	3	45	5	247	4	18	4	10	42	1	1,609	0	36	0	0	35	0	2	1
製造業計		2,419	15	1,902	15	25	16	94	80	2	3	17	4	0	7	101	116	3	31	0	4	0	2	1	0	0
食品		41	0	21	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・飼料		5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木材		4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙		1,320	5	1,253	0	0	0	0	39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2	0	0	1	0	0	0
印刷		14	1	0	1	1	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学		573	5	504	15	4	4	32	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック		3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム		8	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石		110	0	13	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	88	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0
窯業		22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄鋼		67	0	59	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非鉄金属		4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
金属		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器		6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器		22	9	9	1	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品		49	28	28	1	5	10	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気機器		29	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器		112	0	4	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	4	3	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送用機器		30	4	3	3	1	1	8	3	0	0	0	0	0	1	3	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0
その他製造業		2,244	154	859	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	23	0	1,201	0	0	0	0	0	0	0
電気・ガス・水道業		1,415	154	30	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	23	0	1,201	0	0	0	0	0	0	0
ガス業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熱供給業		57	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工業用水道業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業		772	0	772	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業、郵便業		5	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売業、小売業		7	1	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金融業、保険業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産業、賃貸業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門サービス業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業、飲食業		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活サービス業		10	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0
医療、福祉業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複合サービス業		88	0	18	8	2	2	28	0	0	0	0	0	0	7	12	1	3	0	0	0	9	0	8	1	
公務		6	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和4年度](その1) (単位:千t/年)

区分	発生量 (A) (B+Z1+C)	有償物量 (B)	保管量 (Z1)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量										自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
					うち焼却 量 (T1)	汚泥脱水 減量 (E)	(自己中間処理後)			(自己未処理)			(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)			
							再生利用 量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託処理 量 (E3)	保管量 (Z2)	再生利用 量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)							委託処理 量 (G3)	県内	県外	
																						再生利用 量 (E1)
種類 合計	7,330	196		7,134	3,077	171	2,592	369	212	40	116		4,056	52	233	3,771	4,161	274	274			
燃え殻	181	7		174	1	1		0			0		173	13	41	120	161	41	41			
汚泥	3,153	131		3,022	2,850	112	2,512	248	90	40	117		172	27	0	145	303	41	41			
廃油	37	1		36	6	3	1						30	0		30	30					
廃酸	18	0		18	2	1	1	0	0				16	0		16	16					
廃アルカリ	101			101	65	21	47	1	1		1		36			36	37					
廃プラスチック類	164	0		164	44	12	31	10	5	5			120	3	0	117	122	0	0			
紙くず	9	2		7	1	0	0	1	1		0		6	1		5	5					
木くず	251	1		250	7	1	0	7	7		1		243	3		240	240					
繊維くず	4			4	0	0		0	0		0		4			4	4					
動植物性残さ	18			18									18			18	18					
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0			0									0			0	0					
金属くず	35	9		27	0			0	0				26	4	0	22	22	0	0			
ガラス陶磁器くず	166			166	9	1	0	9	8		1		156	1	2	154	156	2	2			
鉱さい	143	2		141	31	20		31	31				121			121	111					
がれき類	1,704			1,704	69			69	69		0		1,635		1	1,634	1,635	1	1			
ばいじん	1,277	44		1,233	0	0	0	0	0		0		1,233		189	1,044	1,233	189	189			
13号廃棄物																						
動物のふん尿	10			10									10			10	10					
動物の死体	1			1									1			1	1					
その他	58			58	2		0	2	1		1		56		0	56	57	0	0			
感染性廃棄物	6			6									6			6	6					
混合廃棄物	52			52	2		0	2	1		1		50		0	50	51	0	0			

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和4年度](その2)

(単位:千t/年)

種類	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託直接最終処分量		委託中間処理量				委託中間処理後量			再生利用量		最終処分量		(処理主体の内訳)				
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(O) (+O+M2)	(G1)	(G3)	(G)	(O)	(G)	事業者	処理業者			
			県内	県外		域内	域外		うち焼却 量	うち焼却 量										保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)
			203	26		2,499	138		1,159	778										3,474	3,362	112
合計	3,887	229	203	26	3,658	2,499	138	1,159	778	3,474	3,362	112	3,626	615	274	341						
燃え殻	120	20	19	1	100	34	1	66	54	100	98	2	111	63	41	22						
汚泥	263	51	28	23	212	115	23	97	34	133	118	15	235	106	41	66						
廃油	30				30	15	10	15	4	13	12	0	12	0		0						
廃酸	16				16	3	1	13	1	3	3	0	3	0		0						
廃アルカリ	37				37	10	8	27	6	5	4	1	4	1		1						
廃プラスチック類	122	8	7	1	114	71	9	43	6	102	79	23	87	31	0	31						
紙くず	5	0	0		5	4	0	1	0	4	3	1	5	1		1						
木くず	240				240	203	15	37	2	224	214	10	224	10		10						
繊維くず	4				4	2	0	2	0	3	2	1	2	1		1						
動植物性残さ	18				18	16	0	2	0	18	17	0	17	0		0						
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0	0	0		0	0	0			0	0	0	0	0		0						
金属くず	22	0	0		22	18	0	3	0	22	21	1	25	1	0	1						
ガラス陶磁器くず	154	15	15	0	139	119	0	20	0	139	118	21	127	38	2	36						
鉱さい	111	8	8		103	31	5	72	49	103	102	1	133	8		8						
がれき類	1,634	24	24	0	1,610	1,583	0	27		1,610	1,596	14	1,665	39	1	38						
ばいじん	1,044	92	91	0	952	222	52	730	622	951	951	0	951	281	189	92						
13号廃棄物																						
動物のふん尿	10				10	10				10	10		10									
動物の死体	1				1	0	0	1	0	1	1	0	1	0		0						
その他	57	12	12	0	46	41	12	4	1	34	12	22	13	33	0	33						
感染性廃棄物	6				6	6	6	0	0	1	0	1	0	1		1						
混合廃棄物	51	12	12	0	39	35	6	4	1	33	12	20	13	32	0	32						

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和4年度](その1)

(単位:千t/年)

業種	発生量 (A) (B+Z1+C)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			搬出量		自己最終処分量							
		有償物量 (B)	保管量 (Z1)	排出量 (D+G)	うち焼却 量 (D)	汚泥脱水 量 (T1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(自己未処理の処理内訳)	(G)	(G1)	(G2)	(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)						
							再生利用 量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)						委託処 理量 (E3)	(Z2)	再生利用 量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託処理 量 (G3)	県内	県外
合計	7,330	196	7,134	3,077	2,792	2,592	369	212	40	116	4,056	52	233	3,771	4,161	274	274			
農業・林業	13		13								13			13						
漁業	0		0								0			0						
鉱業	165		165	165		75	90	90		0	0			0						
建設業	2,173	3	2,170	77	16		77	76	1		2,093	3	2	2,088	2,091	2	2			
製造業	2,430	11	2,419	1,984	1,861	1,741	126	41	40	44	435	36	8	391	484	48	48			
電気・ガス・水道業	2,427	183	2,244	846	915	776	70	0		70	1,398	13	224	1,161	1,455	224	224			
情報通信業	1		1								1			1	1					
運輸・郵便業	5		5								5			5	5					
卸・小売業	7		7								7			7	7					
金融・保険業	1		1								1			1	1					
不動産業・物品賃貸業	0		0								0			0	0					
学術研究・技術サービス業	0		0								0			0	0					
宿泊業・飲食サービス業	1		1								1			1	1					
生活関連サービス業	1	0	1	0	0	0	0			0	1			1	1					
教育・学習支援業	2		2								2			2	2					
医療・福祉業	10		10								10			10	10					
複合サービス業	0		0								0			0	0					
サービス業	88	0	88	5			5	4	1		83		0	83	83	0	0			
公務	6		6								6			6	6					

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和4年度](その2)

(単位:千t/年)

業種	区分委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		(処理主体の内訳)	
		(処理先地域の内訳)		(O)	(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q3)	事業者	処理業者			
		県内	県外			県内	県外		保有量 (Z3)	再生利用量 (M1)							最終処分量 (M2)		
		うち焼却量	うち焼却量	うち焼却量	うち焼却量														
合計	3,887	229	203	26	3,658	2,499	138	1,159	778	3,474	3,362	112	615	274	341				
農業・林業	13	0	0		13	12	1	1	0	13	12	1	12	1	1				
漁業	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0				
鉱業	0				0	0	0			0	0	0	90	0	0				
建設業	2,089	68	54	14	2,021	1,925	25	97	4	1,977	1,909	68	137	2	136				
製造業	436	32	20	12	404	202	35	202	77	317	302	15	94	48	46				
電気・ガス・水道業	1,231	123	122	0	1,108	287	62	822	694	1,086	1,080	6	353	224	129				
情報通信業	1	0	0		1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0				
運輸・郵便業	5	1	1		4	2	0	2	0	3	3	0	3	2	2				
卸・小売業	7	0	0		7	3	0	4	0	6	5	0	5	1	1				
金融・保険業	1	0	0		1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0				
不動産業・物品賃貸業	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
学術研究・技術サービス業	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宿泊業・飲食サービス業	1	0	0		1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0				
生活関連サービス業	1	0	0		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0				
教育・学習支援業	2	0	0		2	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0				
医療・福祉業	10	0	0		10	9	6	1	0	5	2	2	3	0	3				
複合サービス業	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
サービス業	83	6	6	0	78	50	8	28	2	59	41	18	23	0	23				
公務	6	0	0		6	4	0	1	1	4	4	1	4	1	1				

統計表4 排出量及び処理量等の経年推移

(単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
合計	7,454	8,052	8,490	8,321	7,936	7,332	7,844	7,822	7,722	7,498	7,457	7,134
汚泥	3,797	3,637	3,451	3,648	3,605	3,313	3,496	3,401	3,133	3,068	3,221	3,022
がれき類	2,034	2,305	2,135	1,906	1,853	1,675	1,720	1,579	1,694	1,767	1,622	1,704
ばいじん	429	1,018	1,696	1,550	1,534	1,403	1,536	1,600	1,592	1,439	1,317	1,233
その他	1,195	1,092	1,208	1,217	944	941	1,092	1,242	1,304	1,224	1,297	1,174

(単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
合計	3,428	3,673	4,343	4,153	3,889	3,677	3,956	3,974	4,185	4,051	3,723	3,626
がれき類	1,993	2,233	2,070	1,847	1,803	1,635	1,672	1,536	1,652	1,723	1,561	1,665
ばいじん	213	411	1,128	1,213	1,282	1,242	1,355	1,390	1,457	1,266	1,050	951
燃え殻	140	438	107	158	165	184	219	255	238	219	240	187
その他	1,083	592	1,038	935	640	617	710	792	838	843	872	823

(単位:%)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
合計	46	46	51	50	49	50	50	51	54	54	50	51
がれき類	98	97	97	97	97	98	97	97	98	98	96	98
ばいじん	49	40	67	78	84	89	88	87	92	88	80	77
燃え殻	56	66	52	76	65	68	65	71	61	67	65	64
その他	22	13	23	20	14	17	19	20	22	23	22	22

4. 最終処分量(処分時点の種類) (単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
合計	523	962	838	682	570	471	544	572	509	512	643	615
ばいじん	216	607	506	338	252	161	181	209	135	172	263	281
汚泥	116	145	117	140	138	134	147	129	104	94	107	98
燃え殻	70	76	77	51	53	58	70	72	109	81	99	78
その他	121	134	137	153	127	118	146	162	161	164	174	158

5. 最終処分率 (単位:%)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
合計	7	12	10	8	7	6	7	7	7	7	9	9
ばいじん	50	60	30	22	16	11	12	13	8	12	20	23
汚泥	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4
燃え殻	43	34	47	23	34	31	34	29	39	32	34	36
その他	4	4	4	5	5	5	6	7	6	6	7	6